

OMRON

VIAGGIO

ヴィアッジョ

OMRON

取扱説明書

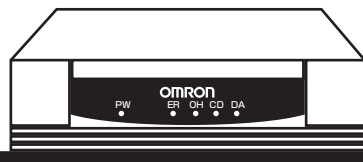
FAX/ DATAモデム

ME5614D2/E2

ME5614D2/E2

取扱説明書

MODEM



●はじめに

この度は、オムロンボックスモデム **ME5614D2/E2** をお買い上げ戴き、誠に有り難うございます。本モデムを使用して、パソコン同士やパソコンとFAXの間で、文字や画像情報の交換などのいろいろな通信をお楽しみください。

本モデムは、ITU-Tの**V.90**に対応し、**最高速度 56000bps** (33600bps 以上は受信のみ)までの通信速度で通信することができます。

本取扱説明書では、**ME5614D2/E2**の取扱方法や、注意事項を説明していますのでお使いになる前に必ずお読みになり、十分に理解してください。

また、必要な人が何時でも見るできるように、本モデムの近くに置いてご使用ください。

◇取扱説明書の読み方

最初に、「安全上のご注意」と「環境上のお願い」について記載していますので、全ての方にお読みいただき、正しくご使用ください。

最初に本取扱説明書を読んで、**ME5614D2/E2**の使い方を理解してください。

初心者の方は最初から順番にお読みください。

経験者の方は「安全上のご注意」「環境上のお願い」「準備する」「セットアップをする」の章は、必ずお読みください。その他の章は必要によりお読みください。

- 「安全上のご注意」「環境上のお願い」では、ご使用いただく上での、安全上の注意事項や廃棄する上でのお願いが書かれていますので**ME5614D2/E2**を使用される方は全員お読みください。
- 「何から始めればいいのか?」では、インターネットやFAX通信を始めるまでの手順を示しています。
- 「準備する」では、開梱等の方法や、モデムとパソコンの接続方法について記載しています。
- 「セットアップをする」では、Windows®とMacintoshの場合について、モデム設定ファイルのインストールとインターネットへのアクセス方法、およびWindows®のMicrosoft-Faxの使用法について記載しています。
- その他に「ATコマンド」や「仕様」、初心者の方のために「お困りのときには」「用語の解説」等を記載しています。
- 本取扱説明書をご理解いただければ、ホームページの閲覧及びFAXの送受信等ができるようになります。インターネットやパソコン通信は他にもいろいろな楽しみ方があります。市販されている書籍等をご活用いただければ幸いです。

ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

● 安全上のご注意

⚠ 注意

誤った取扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペットに関わる拡大損害を示します。



：禁止（してはいけないこと）を示します。



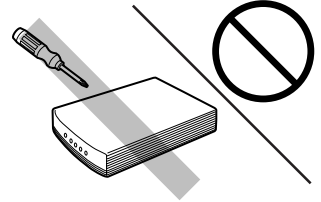
：強制（必ずしなければならないこと）を示します。例えば ⚡ はアースの実装が必要であることを意味します。

なお、注意、禁止に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性もあります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

⚠ 注意

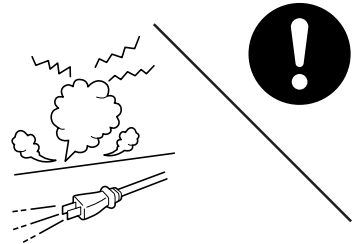
モデムのカバーは絶対に、開けたり、分解や改造をしたりしないこと

- モデム内部の電圧の高い部分によって、感電のおそれがあります。



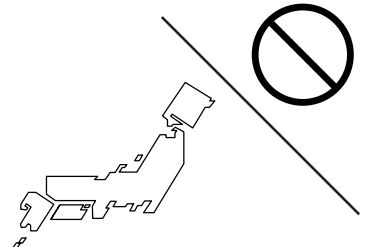
本モデムから異臭、異音、煙が発生したときは、パソコンとモデムの電源スイッチを切り AC プラグを抜くこと

- 火災の原因になるおそれがあります。



本モデムは日本国以外で使用しないこと

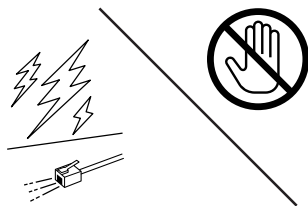
- 本モデムの仕様は日本国内向けになっており、海外での許認可等は受けておりませんので、海外ではご使用いただけません。
- 海外で使用されますと、電圧、使用環境が異なり、本モデムの破損、発煙、発火のおそれがあります。
- This modem can be used Japan only and can not be used any other country.



安全上のご注意

雷が発生した場合は、電源ケーブルや電話線のケーブルには手をふれないこと

- 感電の恐れがあります。

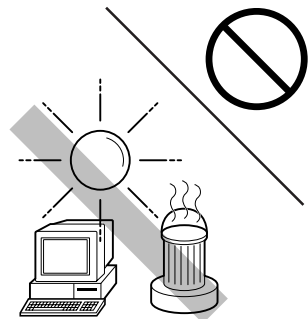


この取扱説明書に記載されている周囲環境条件から外れた使用、保管は絶対しないこと

- 本モデムの故障、破損などによって、発煙、発火のおそれがあります。

下記の環境には特にご注意ください。

- ・自動車内等の直射日光の当たる場所
- ・高温下や発熱する器具の近く
- ・極端に湿度の高い場所
- ・埃の多い場所
- ・油煙の当たる場所
- ・衝撃を受けたり振動が加わるような不安定な場所
- ・ラジオやテレビジョンなどのすぐ近く
- ・水などがかかりやすい場所



下記のような事故が発生したら使用を中止し、必ず修理、点検を依頼すること

- そのまま使用されると、重大事故が発生するおそれがあります。

- ・ 60cm 以上の高さから落下させてしまったとき
- ・ 水やコーヒーなどの液体をかけたとき



同梱のACアダプタ以外のACアダプタを使用しないこと。

(ME5614D2)

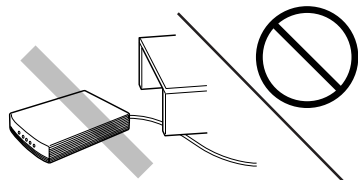
- 他のACアダプタを使用すると、故障、火災のおそれがあります。



モデムの電源コードの上に重いものを乗せないこと。

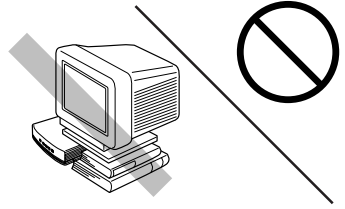
また電源コードやケーブルを傷つけないこと。

- コードが破損し、発煙、発火や漏電のおそれがあります。



モデムを逆さまに設置したり、上に重いものを乗せないこと

- モデムの故障、破損などによって、発煙、発火のおそれがあります。



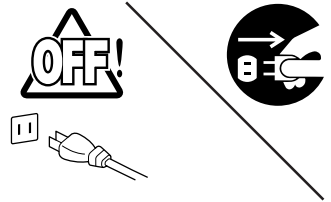
本モデムの通風孔をふさいだり、重ね置きをしないこと

- 内部に熱がこもり、誤動作ややけど、火災のおそれがあります。

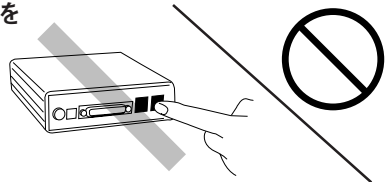


モデムと他の機器を接続するときは、機器の電源を切った状態で行うこと

- 電源を入れたまま接続すると、故障の原因となり発煙、発火のおそれがあります。



感電防止のためモジュラージャック (LINE、PHONE) に指を入れないこと



AC プラグは根本まで確実に差し込んで使用すること。
また、電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的 (半年に1回程度) に取り除くこと。

- AC プラグにほこりが付着し、電源が短絡して発火・発煙の恐れがあります。



！強制

モデム本体の FG 端子 (アース端子) を使って必ず設置してください。
落雷時の影響 (破損、焼損等) を軽減したり、ノイズ (電氣的雑音) の影響を軽減します。

留意事項

本モデムの用途について

- 本モデムは、パソコンなどのOA機器に使用することを目的に設計・製造されています。医療機器や幹線通信機器、電算機システムなどの極めて高い安全性、信頼性が要求される用途には使用しないでください。

雷による障害について

- 本モデムは、雷などにより発生し、電話回線から入り込むサージ電圧（瞬間的な電圧異常）から本機を保護する回路を内蔵しておりますが、より高い保護効果をお望みの場合は、パソコンショップ等で市販されている雷サージ保護装置を併用されることをお奨めいたします。なお、当社のバックアップ電源は上記の雷サージ保護装置を内蔵しておりますので、ご使用いただきますと停電対策及び雷サージ対策の双方に効果を発揮します。ただし、雷サージ保護装置や当社のバックアップ電源をご使用の場合でも、雷の状況によってはモデムの故障などの障害が発生する場合があります。近くで雷が発生した場合は、雷が収まった後に、本機が正常に動作するか確認されることをおすすめします。万一の故障の場合は、当社周辺機器修理センタ（TEL: 03-3436-7213）が修理を承っております。なお、雷などの天災による故障の場合は、保証期間内であっても有償修理となりますのでご承知ください。

本モデムの故障・誤作動、停電あるいは天災等によって本モデムが使用できなくなった場合、それに生じる損害（通信等上生じる機会損失等）に対しては、当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

本モデムは、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本モデムは、家庭環境で使用することを目的としていますが、本モデムがラジオ、テレビに接近して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。受信障害が発生した場合は、本モデムをラジオ、テレビから離してご使用ください。

本モデムは 法律（輸出貿易管理令、外国為替令）の規制の対象となります。本モデムを海外に持ち出される（輸出）場合は、当社カスタマサポートセンタ（TEL: ☎ 0120-77-4717）にお問い合わせください。お問い合わせの際、本モデムの製造番号が必要です。製造番号は、本製品に貼付のシールに記載しております。

初めて本モデムをお使いになるときは、不揮発メモリーの内容が失われている可能性があります。お使いになる前に、本モデムの初期化の操作を行ってください。初期化の方法は [133ページ](#) をご覧ください。

長期間無人で使用する場合は、正しく動作していることを必ず定期的に確認してください。

本モデムを拭く場合、揮発性の有機溶剤や薬品、化学雑巾などで拭くと変形や変色する恐れがありますので、石鹼水等で良く絞った布で拭いてください。

キャッチホンの回線で本モデムを使用されますと、割り込みの呼出音によってデータが乱れたり回線が切断されることがあります。なるべくキャッチホンの契約をしていない回線でご使用ください。

本モデムはNTTの電話回線と電気的条件が異なる通信回線では、使用できません。(ボタン電話、キーテレホン、ホームキーテレホン、家庭用キーテレホン等)
一般の家庭用の電話回線(ダイヤル式やプッシュ式電話)は、そのまま接続できます。
接続する前に電話装置メーカーや保守業者に、ご相談ください。

本モデムはPBX内線に直接接続して使用する場合、回線の電気的条件がNTTの電話回線と同じでなければ動作しません。本モデムは、極性反転がない回線にも接続できるように設計されていますが、呼出信号の電圧や周期、ダイヤルトーンやビジートーンなどについては、NTTの仕様に準拠しています。従ってこれらの仕様がNTT回線と極端に異なる場合には、これらの信号を認識できないことがあります。詳しくは、PBXの製造メーカーや保守業者に問い合わせてください。

送出レベルの設定方法

ATS91=n (10～15) でデータ通信の送出レベルを変更することができます。n=11にした時、送出レベルは -11dBm、n=15にした時、送出レベルは -15dBm に設定されます。初期値は n=15 です。

ATS92=n (10～15) でFAX通信の送出レベルを変更することができます。n=11にした時、送出レベルは -11dBm、n=15にした時、送出レベルは -15dBm に設定されます。初期値は n=15 です。

変更するレジスタ	S91 (データ通信)	S92 (FAX通信)
初期値	15 (-15dBm)	15 (-15dBm)
最大値	10 (-10dBm)	10 (-10dBm)
最小値	15 (-15dBm)	15 (-15dBm)

安全上のご注意／環境上のお願い

付属のソフトウェアは下記にご留意いただき、ご使用願います。

- 万が一の事故に備えて、バックアップコピーをしておいてください。
- 本ソフトウェアは日本国著作権法により、お買いあげ戴いた方のみに使用を許諾するものです。
- 第3者に譲渡はできますが、上記の条件に同意戴いた方のみに、使用の許諾をするものです。
- 本ソフトウェアに製造上の瑕疵が有った場合には、お買い求めの日から90日以内に販売店にお申し出戴ければ、無料で新品と交換いたします。なお事故、濫用、誤用により 瑕疵が発生した場合には交換できません。
- 本ソフトウェアの最新性、使用したときの成果の的確性、正確性、信頼性等に關しての保証はしません、成果や機能についてのリスクは全て購入者(使用者)が負担していただくことになります。

付属のCD-ROMは下記を守って使用すること。

- 表面に傷をつけない
- 読み取り面を触らない
- 折り曲げない
- 高湿、高熱、直射日光、埃のなかで保管しない

取扱説明書については、以下の点にご留意ください。

- 本取扱説明書の内容の一部または全部を、無断で転載することを禁止します。
- 本取扱説明書の内容に關しては、将来予告なしに変更される場合があります。
- 本取扱説明書の内容については、万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点やご不明な点、誤り、記載漏れ、乱丁、落丁、その他お気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。
- 本取扱説明書内で指示されている内容には、必ず従ってください。
- 本取扱説明書の瑕疵(誤記等)により発生した障害、損害についての保証の範囲は本製品の修理、交換、または同等機能の製品との代替交換に限ります。

通信中にパソコンの電源が切れたり、モジュラケーブルを外したりすると通信ができなくなったり、データが壊れたりします。

- 重要なデータは元データと照合してください。
- 送信先番号を間違うと、目的のところへ送信されません、良く確認して送信してください。
- 通信中に停電や、パソコンの入力電圧が瞬間的に低くなったり、パソコンの電源が切れたりするような場合でも正常な動作を確保したい場合は、弊社製品の無停電電源装置(BU/BX シリーズ)をパソコンに接続してご使用されることをお勧めいたします。

パソコン通信は電話代とBBS使用料金または、インターネットサービスプロバイダ接続料金が別々に必要になります。



地球環境負荷を減らすために以下のことにご協力ください

本製品および付属品は不燃物として処分してください。

- 廃棄方法は、各居住地区で定められている分別および収集方法に従ってください。
- 家庭で一般ゴミとして焼却すると、ダイオキシンや塩化水素ガス等が発生して環境や体に悪影響を与えます。

●この取扱説明書について

◇表記について

- Windows®98SEは、“Windows®98”として表記します。
本取扱説明書ではWindows®98とWindows®98SE (Second Edition)は、ともに“Windows®98”と表記しています。
- 本取扱説明書では、以下使用している記号
 -  エンターキー（リターンキー）
 -  キー
 - 留意事項 使用上の留意事項

◇画面表示について

表示画面は、操作説明の一例として掲載しているものです。
お客様のパソコン画面に表示される画面とは異なる場合もあります。
あらかじめご了承ください。

◇商標について

Microsoft®、Windows®、Windows NT® は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Apple、Macintosh、Mac OSは、米国 Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
その他、本取扱説明書に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

●目次

はじめに	i
安全上のご注意	1
環境上のお願い	6
この取扱説明書について	7
目次	8
何から始めればいいのか?	12
準備する	14
■動作可能なパソコンを確認する	14
■開梱し付属品を確認する	15
■各部の名称とはたらきを確認する	17
■電話回線の種類を確認する	19
■電話回線、パソコンを接続する	20
●電話回線とパソコンの接続図	20
●ケーブル接続と電源を入れるまでの手順	22
セットアップをする...Windows®95	24
◇パソコンの通信ポートを設定する	24
◇プロバイダ情報やソフトウェアを用意する	24
●プロバイダ情報	24
●インターネット接続ソフトウェア	24
ドライバをインストールする...Windows®95	25
■Windows®95 のバージョンを確認する	25
■Windows®95 の場合	26
■Windows®95 OSR2 の場合	30
◇STEP1 ネットワークプロトコル (TCP/IP) をインストールする	33
◇STEP2 ダイアルアップネットワークを設定する	36
◇STEP3 インターネットへ接続する	40

セットアップをする...Windows®Me/98	45
◇パソコンの通信ポートを設定する	45
◇プロバイダ情報やソフトウェアを用意する	45
●プロバイダ情報	45
●インターネット接続ソフトウェア	45
ドライバをインストールする...Windows®Me/98	45
インターネットへ接続する...Windows®Me/98	45
◇STEP1 ネットワークプロトコル (TCP/IP) をインストールする	54
◇STEP2 ダイアルアップネットワークを設定する	58
◇STEP3 インターネットへ接続する	62
セットアップをする...Windows®Server™2003/XP/2000	64
◇プロバイダ情報やソフトウェアを用意する	64
●プロバイダ情報	64
●インターネット接続ソフトウェア	64
ドライバをインストールする...Windows®Server™2003/XP/2000 ...	65
■プラグ&プレイによるインストール	65
■手動インストール方法	73
◇STEP1 ネットワークプロトコル (TCP/IP) をインストールする	80
◇STEP2 ダイアルアップネットワークを設定する	83
◇STEP3 インターネットへ接続する	89
セットアップをする...WindowsNT®4.0	92
◇パソコンの通信ポートを設定する	92
◇プロバイダ情報やソフトウェアを用意する	92
●プロバイダ情報	92
●インターネット接続ソフトウェア	92
ドライバをインストールする...WindowsNT®4.0	93
インターネットへ接続する...WindowsNT®4.0	93
◇STEP1 ダイアルアップネットワークを設定する	98
◇STEP2 インターネットへ接続する	99

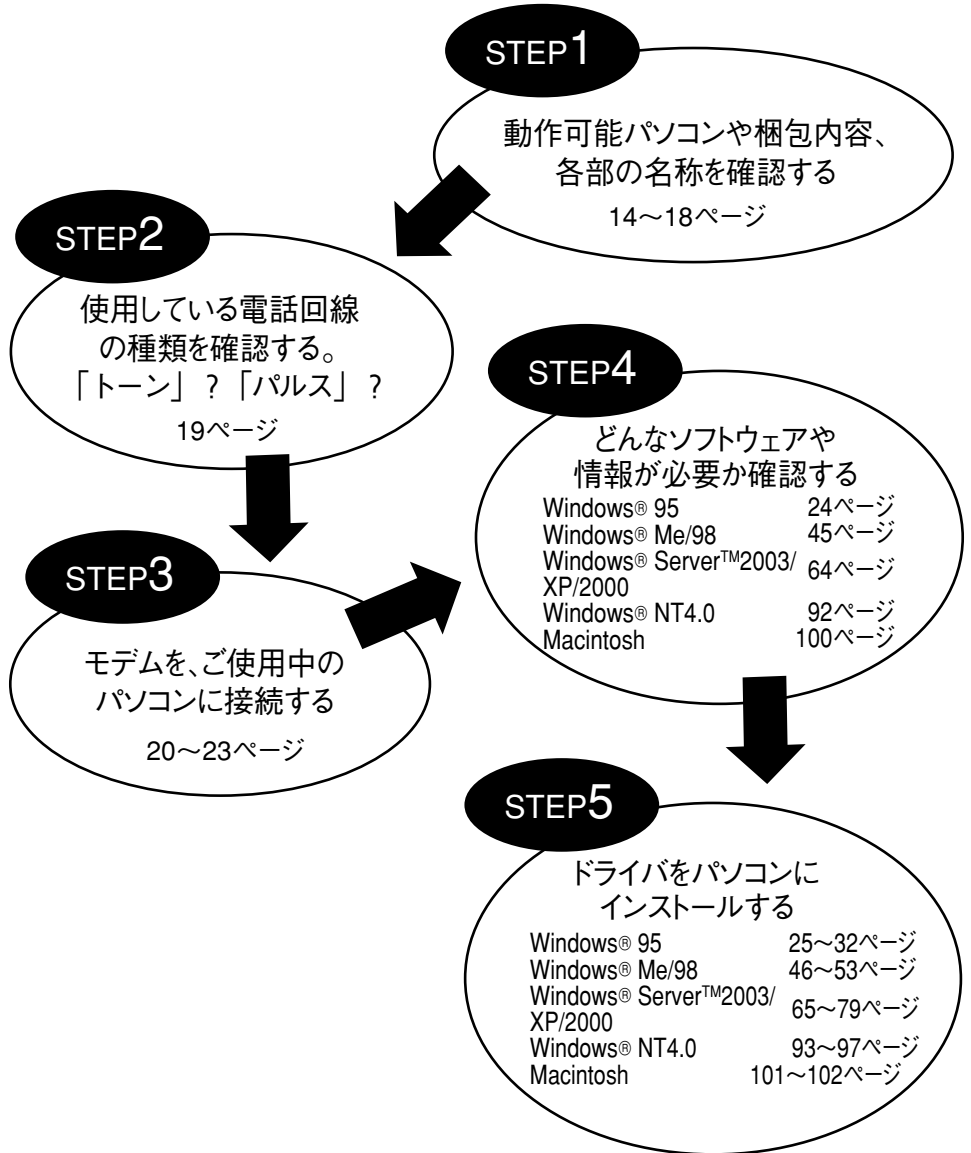
目次

セットアップをする...Macintosh	100
◇パソコンの通信ポートを設定する	100
◇プロバイダ情報やソフトウェアを用意する	100
●プロバイダ情報	100
ドライバ(CCLファイル)をインストール...Macintosh	101
インターネットへ接続する...Macintosh	103
◇STEP1 接続ソフトウェアを設定する	103
2.1 「リモートアクセス」または「PPP」を設定する	103
2.2 「TCP/IP」を設定する	106
◇STEP2 インターネットへ接続する	109
ATコマンドの基本	112
■ATコマンドとは	112
■データフォーマットの自動認識	112
■コマンドリスト	113
●ATコマンド	113
●リザルトコード	118
●Sレジスタ	121
お困りのときには	122
◇Q&A (Windows®Me/98/95/Macintoshの場合)	122
◇チェック表による確認 (Windows®Server™XP/2000の場合)	130
◇モデムの動作を確認する (Windows®Server™XP/2000/Me/98/95の場合) ...	134
◇ドライバの削除方法	137
用語の解説	139
■通信ソフトマニュアル、パソコン通信局(BBS)の用語説明	139
■仕様書、カタログの用語の説明	140
■データ通信、FAXモデムの基礎知識	143
●データ通信の基礎知識	143
●FAX モデムの基礎知識	145
付録	146
■端末(DTE)接続ケーブルインタフェース	146
■仕様	147

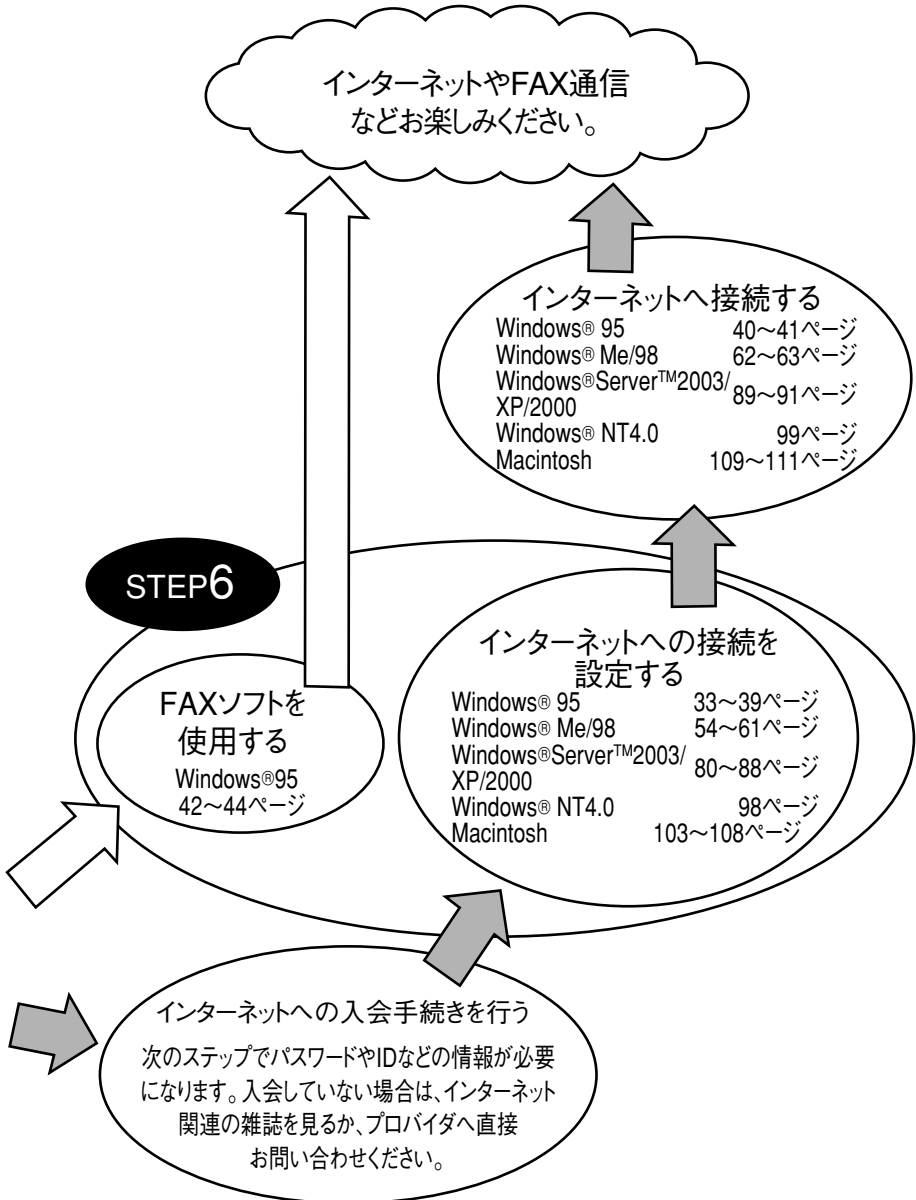
目次

● NCU 仕様	147
● データ仕様	147
● FAX 仕様	148
● 一般仕様	148
■ 外観寸法図	149
● ME5614D2	149
● ME5614E2	150
関連商品の紹介	151
■ モデムとパソコンを接続するケーブルについて	151
修理のご案内	153
修理依頼票	154
お問い合わせ票	155

何から始め



ればいいのか？



● 準備する

インターネットやFAX通信を利用するためには、パソコン、モデム、モジュラケーブル、ソフトウェア(ブラウザ、FAXソフト)およびプロバイダから入手したIDやパスワード等のプロバイダ情報が必要です。

ここでは、梱包内容の確認からモデム各部の名称、接続方法について説明しています。必要なソフトウェアやプロバイダ情報については、24ページ(Windows®をご使用の場合)あるいは、100ページ(Macintoshをご使用の場合)をご覧ください。

■動作可能なパソコンを確認する

オムロンボックス型モデムME5614D2/E2は、パソコンのPC98系、DOS/V系、Mac系それぞれのものに使用できますが、使用するソフトウェアと接続ケーブルが異なりますので、それぞれのパソコンに対応してご使用ください。

接続ケーブルについては、151～152ページをご覧ください。

- PC98系 ----- Windows®95以降、MS-DOS Ver5.0以降
- DOS/V ----- Windows® Server™2003/XP/Me/98/95/2000/NT4.0、MS-DOS Ver5.0以降

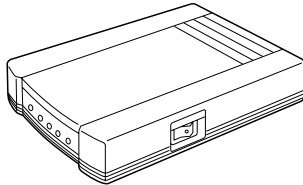
* Windows®3.1及びMS-DOSの場合ドライバは必要ありません。

■開梱し付属品を確認する

梱包箱を開けて付属品がすべて揃っているか、外観に損傷はないか確認してください。万が一不良品その他お気づきの点がございましたら、すぐに販売店へご連絡ください。

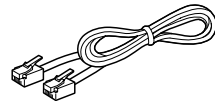
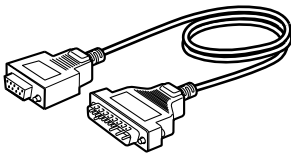
- ME5614D2

- モデム本体



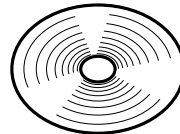
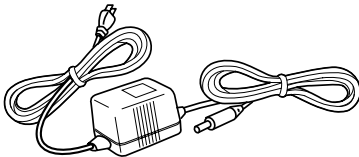
DOS/V以外のパソコンをご使用の方は
151ページをご参照下さい。

- DOS/V PC用接続ケーブル(1.2m)
 - モジュラケーブル(3m)



- ACアダプタ

- CD-ROM 1枚

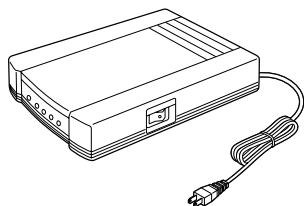


- 取扱説明書
- 保証書／ご愛用登録カード

準備する

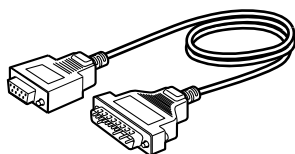
- ME5614E2

- モデム本体

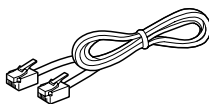


DOS/V以外のパソコンをご使用の方は
151ページをご参照ください。

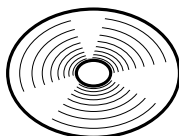
- DOS/V PC用接続ケーブル(1.2m)



- モジュラケーブル(3m)



- CD-ROM 1枚

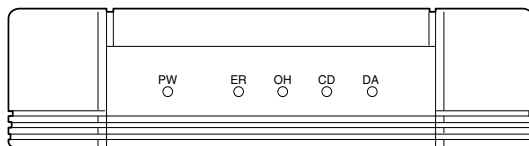


- 取扱説明書

- 保証書／ご愛用登録カード

■各部の名称とはたらきを確認する

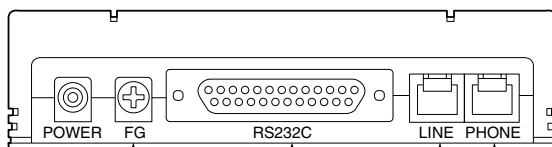
●正面図



- PW(電源) : 電源をONすると点灯
- ER(端末装置レディ) : 実際のER信号をモニターする(エラーランプではありません。)
- OH(オフフック) : オフフック(受話器を上げた状態)時に点灯
- CD(キャリア検出) : 相手モデムからのキャリア検出時に点灯
AT&C0設定時は常時点灯
- DA(データ) : データ送信中に点灯

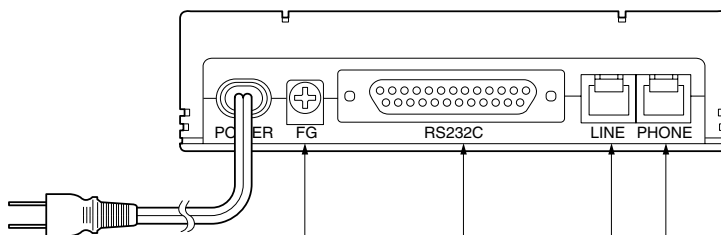
●背面図

●ME5614D2



- 端末(DTE)接続コネクタ
- FG端子 (アース端子)
- 電話機用モジュラジャック
- 電話回線用モジュラジャック

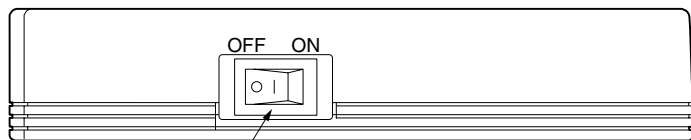
●ME5614E2



- 端末(DTE)接続コネクタ
- FG端子 (アース端子)
- 電話機用モジュラジャック
- 電話回線用モジュラジャック

準備する

●側面図



電源スイッチ

電話回線の種類を確認する

電話回線にはトーン(プッシュ)式とパルス(ダイヤル)式があります。

ご使用の電話回線がどちらなのかを確認するには、実際に時報(117)に電話してみて、受話器から聞こえる音によって確認できます。

- 117に電話して受話器から
ピッポッパッと電子音がするときはトーン(プッシュ)式です。
カチッカチッと機械音がするときはパルス(ダイヤル)式です。
- パルス(ダイヤル)式の電話機はダイヤル速度を切替えられるようになっています。
電話機の裏面または側面に10ppsと20ppsの切替えスイッチがついています。
そのスイッチを切替えてカチッカチツという音が速くなる方が20ppsです。

留意事項

- ppsとは1秒間に何パルスの信号を送るかという単位です。
- 通信ソフトの中で、電話回線の種類がトーンかパルスかを設定するようになっています。
この設定が電話回線と異なると通信できません。パルス式の10ppsと20ppsの設定は通信ソフトが10ppsで電話回線が20ppsとなっても通信できます。良くわからないときは10ppsを選んでいただくと通信できます。

準備する

電話回線、パソコンを接続する

●電話回線とパソコンの接続図

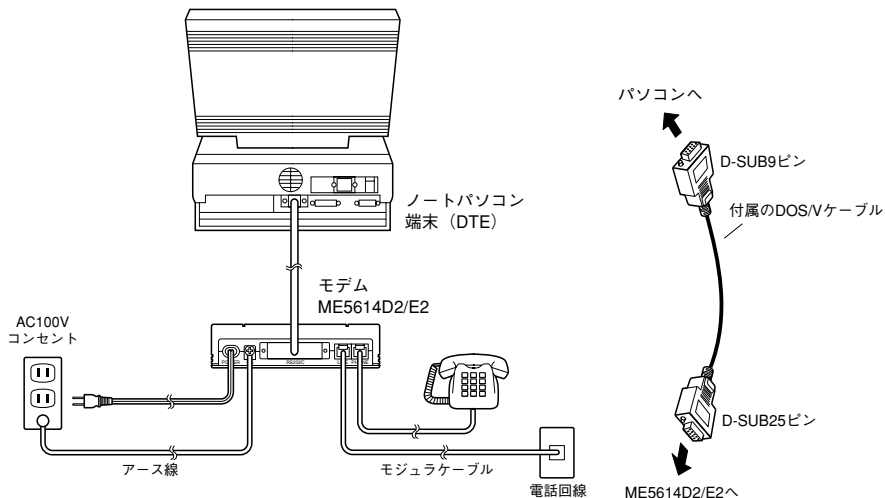
パソコンの機種によって通信ポートの位置が異なります。

付属の端末(DTE)接続ケーブルの接続は次の図を参考にして接続してください。

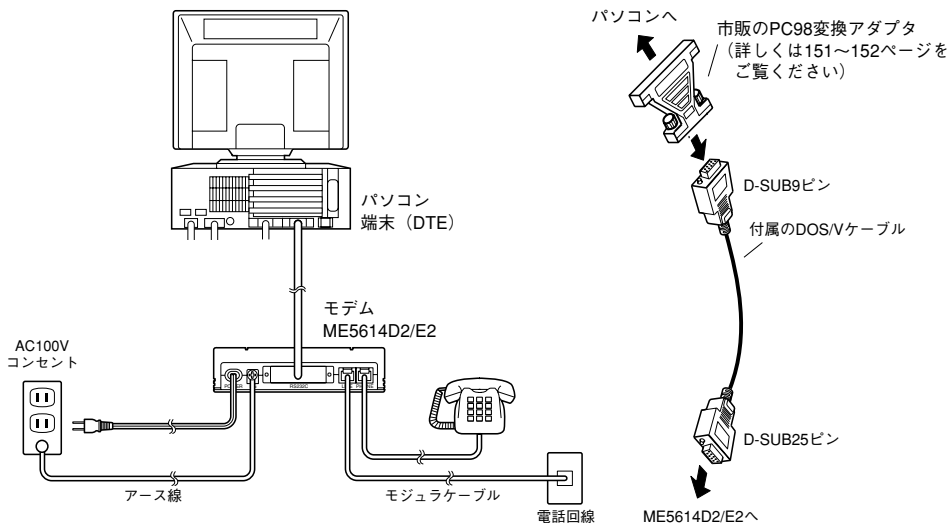
以下の図はME5614E2を例に説明していますが、ME5614D2も同様に接続してください。

(ME5614D2の場合は、別途電源アダプタが必要です。)

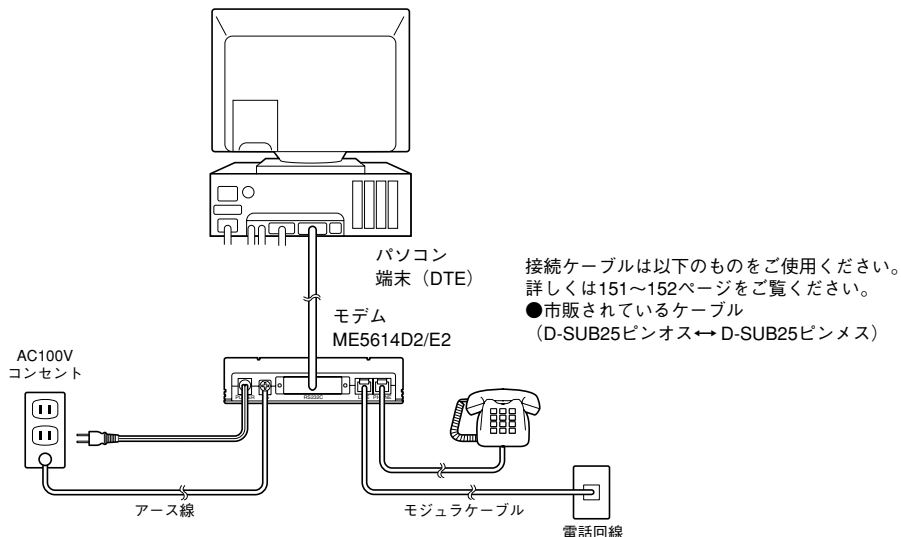
●DOS/V・AX・東芝J3100等



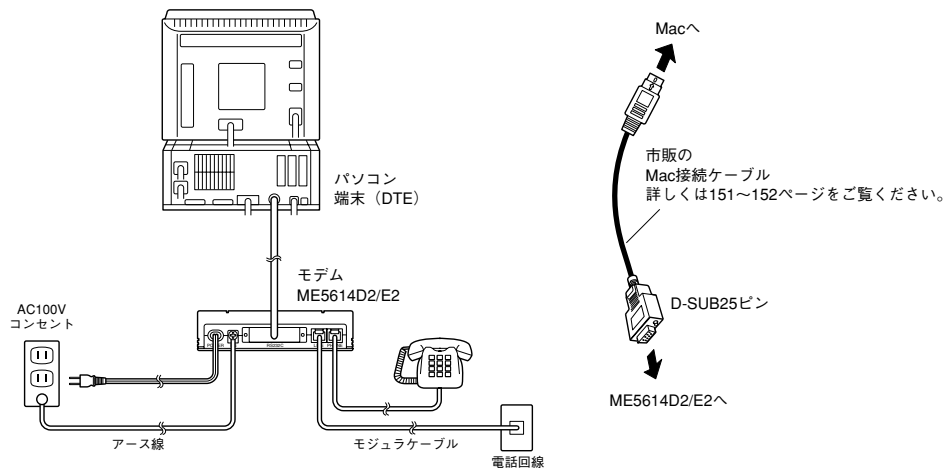
●NEC PC-9800 シリーズ等



●IBM PS/55シリーズ等



●Apple Macintosh



留意事項

- DOS/V・AX・東芝J3100等(D-SUB9ピンオスのDTE)以外に接続する場合は、付属ケーブルと変換コネクタの組合わせ、または各々の専用ケーブル(ストレート)をご用意ください。
- 電話機を使った発着信や通話を行わない場合は、電話機を接続する必要はありません。

準備する

●ケーブル接続と電源を入れるまでの手順

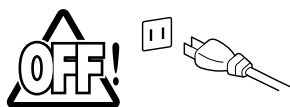
パソコンの機種によって接続ケーブルは異なりますが、モデムの形式による相異はありません。

1 パソコンの電源を切ってください。

⚠ 注意

- 本モデムと他の機器を接続するときは、機器の電源を切った状態で行うこと。

電源を入れたまま接続すると、故障の原因となり発煙、発火のおそれがあります。



2 電話回線への接続

付属のモジュラケーブルで本モデムのLINEと電話回線モジュラージャックを接続してください。電話機を接続する際は、PHONEと電話機を接続してください。

留意事項

電話機をお使いにならないときは、電話機は接続しなくてもかまいません。

3 付属の端末(DTE)接続ケーブルで本モデム本体のRS232Cコネクタとパソコンの通信ポートコネクタを接続してください。

4 アース端子(本モデムのFG)と近くのアース端子を2mm²以上の電線で接続してください。

5 本モデムの電源ケーブルをACコンセントに接続し電源スイッチをONしてください。(ME5614D2の場合は、モデムのPOWERとACコンセントをACアダプタで接続し、電源スイッチをONにしてください。)

6 パソコンの電源を入れてください。

留意事項

- 本モデムはNTTの電話回線と電気的条件が異なる通信回線では、使用できません。(ボタン電話、ビジネスホン、キーテレホン、ホームキーテレホン、家庭用キーテレホン等)一般の家庭用の電話回線(ダイヤル式やプッシュ式電話)は、そのまま接続できます。接続する前に電話装置メーカーや保守業者に、ご相談ください。
- 本モデムはPBX内線で使う場合、回線の電気的条件がNTTの2線式の電話回線と同じでなければ動作しません。本モデムは、極性反転がない回線にも接続できるように設計されていますが、呼出信号の電圧や周期、ダイヤルトーンやビジートンなどについては、NTTの仕様に準拠しています。従ってこれらの仕様がNTTの2線式回線と極端に異なる場合には、これらの信号を認識できないことがあります。詳しくは、PBXの製造メーカーや保守業者に問い合わせてください。
- 本モデムの電源を切ったり、ケーブルを外すときは、接続の順番と逆の順番で行ってください。

●セットアップをする...Windows®95

「ドライバ(INFファイル)」のインストール

前章の「準備する」の手順に従って、モデムとパソコンを接続し、電話回線との接続ができれば、「ドライバ(INFファイル)」をパソコンにインストール(組込み)します。そのとき、ご使用のパソコンの種類に対応した事前準備が必要です。

◇パソコンの通信ポートを設定する

パソコンとモデム間でデータの送受信をするための通信ポートの設定は各インターネット接続ソフトまたは通信ソフト上で行います。

インターネット接続ソフトまたは通信ソフトのインストール後に設定方法をご覧になり、設定してください。

◇プロバイダ情報やソフトウェアを用意する

●プロバイダ情報

インターネットに接続するには、加入されたプロバイダから与えられた次の情報が必要です。設定の際に必要なになりますのでお手元に置いておいてください。

- ①ドメイン・ネーム(例:XXX.XXXXXX.or.jp)
- ②ドメイン・ネーム・サーバーIPアドレス(例:123.123.78.90)
- ③接続アカウント(例:umw11122)
- ④接続パスワード(例:DdcjHbkk)
- ⑤アクセスポイントの電話番号

プロバイダの通信方式がV.90であるかご確認ください。詳しくは各プロバイダにお問い合わせください。プロバイダにまだご加入でない場合は、市販の書籍などを参考にしてご加入ください。

●インターネット接続ソフトウェア

Windows®95やWindowsNT®に標準で装備されている「ダイヤルアップネットワーク」を使用します。インストールされていない場合は、お手持ちのWindows®95のシステムCD-ROMからインストールしてください。

インターネット接続しない方は不要です。

ドライバをインストールする (Windows®95)

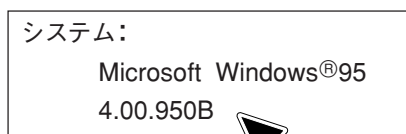
●ドライバをインストールする...Windows®95

本モデムの「ドライバ(INFファイル)」は添付CD-ROMに入っています。「ドライバ(INFファイル)」のインストールが済むと電話回線で使用することができます。

■ Windows®95のバージョンを確認する

「Windows®95をご使用の場合」の項目で、「Windows®95 OSR2を・・・」とありますが、以下の手順で、ご使用のWindows®95がOSR2かどうかを下記の手順でご確認ください。

Windows®95を起動します→「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「システム」と、順番に開き、「情報」タブをクリックして次の表示をご確認ください。



数字の後ろに「B」あるいは「C」がついているものがOSR2です。

ドライバをインストールする (Windows® 95)

■ Windows® 95 の場合

Windows® 95 OSR2の場合は30ページをご覧ください。

注意事項

- システムの状態によっては、画面の表示が異なることがあります。その場合は画面の指示に従ってください。また、画面はME5614D2を例にしています。

1 パソコンの電源をOFFの状態にしてください。

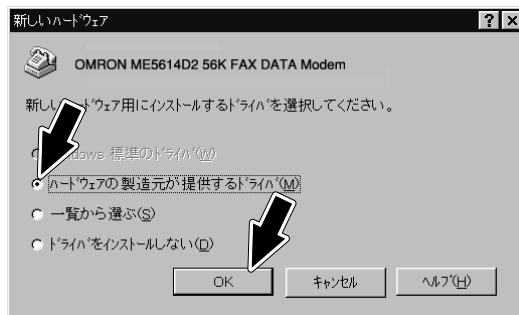
2 パソコンとモデムを接続した状態で、モデム→パソコンの順で電源を入れてください。Windows® 95が起動し、「新しいハードウェアが検出されました」と表示され、ドライバ情報 データベースが作成された後、「新しいハードウェア」画面が表示されます。



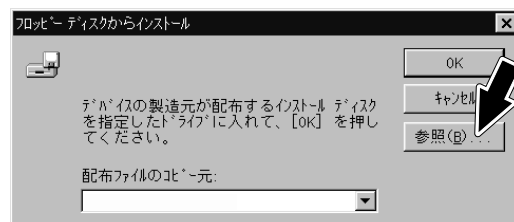
「新しいハードウェアが検出されました」と表示されない

→122ページ参照

3 「新しいハードウェア」ウインドウの「ハードウェアの製造元が提供するドライバ」を選択し、**OK** をクリックしてください。

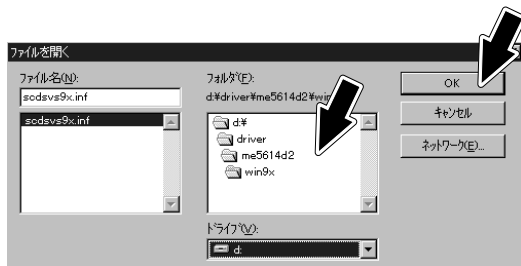


4 「フロッピーディスクからインストール」画面が表示されたら、添付されているCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入し、「参照」をクリックしてください。



ドライバをインストールする (Windows® 95)

- 5** 「ファイルを開く」画面が表示されますので「ドライブ」欄でCD-ROMを挿入したドライブ(この例ではDドライブ)を選択してください。ディレクトリが表示されますので、「driver」→「me5614d2」(または「me5614e2」)→「win9x」フォルダの順にクリックしてください。「ファイル名」欄に「scdsvs9x.inf」が表示されますので「OK」ボタンをクリックしてください。



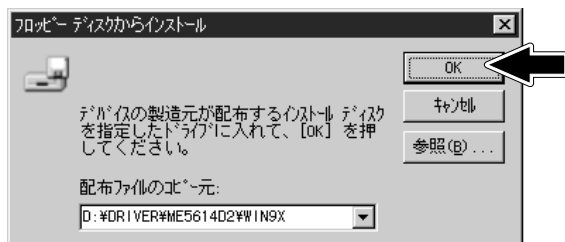
CD-ROMがわからない
→123ページ参照

- 6** 「フロッピーディスクからインストール」画面が開いたら、「配布ファイルのコピー元」欄に下記のコマンドラインが表示されていることを確認して

D:¥DRIVER¥ME5614D2¥WIN9X または D:¥DRIVER¥ME5614E2¥WIN9X

(*「D:」はご使用のパソコンによって異なります。)

「OK」ボタンをクリックしてください。



- 7** 再度、「新しいハードウェア」画面が表示されドライバのインストールが開始されます。インストールが完了すると「新しいハードウェア」画面が消え、Windows®95のデスクトップ画面に戻ります。

インストールが完了しました。

「CD-ROM」を取り出してください。

下記の8項でモデムとパソコンの接続を確認します。

注意事項

- 上記の7項で表示される「新しいハードウェア」画面は、インストール中であることを示します。「キャンセル」ボタン等をクリックして強制的に消さないでください。キャンセルするとインストールが完了しません。

ドライバをインストールする (Windows® 95)

8

接続を確認する。

インストールした「ドライバ (INFファイル)」とパソコンに接続した「ME5614D2」(または「ME5614E2」)が正常に動作することを以下の手順で確認します。


- 1) Windows®95のデスクトップ画面の「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」をクリックしてください。
「コントロールパネル」が開きますので、「モデム」のアイコンをダブルクリックしてください。



- 2) プロパティ画面の「検出結果」タブをクリックして開いてください。ME5614D2 (または「ME5614E2」)が表示されているポートのアイコンをクリックして「詳細情報」をクリックしてください。交信が完了すると「詳細情報」画面が表示されます。



ドライバをインストールする (Windows®95)

- 3) 「詳細情報」画面のATI4の列に「ME5614D2」(または「ME5614E2」)を確認できたら接続は完了です。(ATI4以外はパソコンによって表示内容が異なります。)
「詳細情報」画面の「OK」をクリックしプロパティの「OK」、コントロールパネル  ボタンをクリックしてWindows®95のデスクトップ画面に戻ってください。

これでドライバのインストール及びモデムとパソコンの接続の確認が完了しました。
インターネット接続する方は、33ページにお進みください



詳細情報を開こうとすると
エラーメッセージが表示される
→123ページ参照

ドライバをインストールする (Windows®95)

■ Windows®95 OSR2 の場合

注意事項

- システムの状態によっては、画面の表示が異なることがあります。その場合は画面の指示に従ってください。

1 パソコンの電源をOFFの状態にしてください。

2 パソコンとモデムを接続し、モデム→パソコンの順で電源を入れてください。Windows®95が起動し、「新しいハードウェアが検出されました……」と表示された後、「デバイスドライバウィザード」が表示されますので、「次へ」をクリックしてください。



「新しいハードウェアが検出されました」と表示されない
→122ページ参照

3 「デバイスドライバウィザード」に「このデバイス用のデバイスファイルが見つかりませんでした」と表示されますので「場所の指定」をクリックしてください。

4 「場所の指定」画面が表示されますので、添付のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入し、「参照」をクリックしてください。
「フォルダの参照」画面が表示されます。

5 「フォルダの参照」画面に表示される、「CD-ROM」アイコンをダブルクリックしてください。
「Driver」→「Me5614d2」(または「Me5614e2」)→「Win9x」の順にクリックし、最後に「OK」をクリックしてください。「場所の指定」画面が表示されます。

6 「場所の指定」ウインドウに、

D: ¥DRIVER¥ME5614D2¥WIN9x または D: ¥DRIVER¥ME5614E2¥WIN9x

(*「D:」はご使用のパソコンによって異なります。)

と表示されるのを確認して、「OK」をクリックしてください。

ドライバをインストールする (Windows® 95)

7 再度、「デバイスドライバウィザード」画面が表示され、「このデバイス用の更新されたドライバが見つかりました」と表示されますので、「完了」をクリックしてください。ドライバ(INFファイル)のインストールが開始され、しばらくするとインストールが終了します。

8 接続を確認する。
インストールした「ドライバ(INFファイル)」とパソコンに接続した「ME5614D2」(または「ME5614E2」)が正常に動作することを以下の手順で確認します。


- 1) Windows®95のデスクトップ画面の「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」をクリックしてください。「コントロールパネル」が開きますので、「モデム」のアイコンをダブルクリックしてください。「モデム」のプロパティ画面が開きます。



ドライバをインストールする (Windows® 95)

- 2) プロパティ画面の「検出結果」タブをクリックして開いてください。ME5614D2 (または「ME5614E2」)が表示されているポートのアイコンをクリックして「詳細情報」をクリックしてください。、通信が完了すると「詳細情報」画面が表示されます。



- 3) 「詳細情報」画面のAT14の列に「ME5614D2」(または「ME5614E2」)を確認できたら接続は完了です(AT14以外はパソコンによって表示内容が異なります)。「詳細情報」画面の「OK」をクリックしプロパティの「OK」、「コントロールパネル」の  ボタンをクリックしてWindows®95のデスクトップに戻ってください。



詳細情報を開こうとするとエラーメッセージが表示される
→123ページ参照

これでドライバのインストール及びモデムとパソコンの接続の確認が完了しました。



●インターネットへ接続する...Windows®95

◇STEP1 ネットワークプロトコル (TCP/IP)をインストールする

インターネットに接続するためには「ネットワークプロトコル(TCP/IP)」をインストールする必要があります。もし、すでに「TCP/IP」がインストールしてある場合は、次の「手順3 ダイアルアップネットワークを設定する」に進んでください。

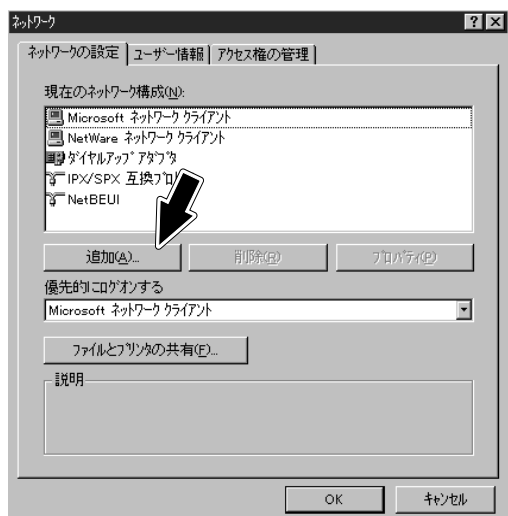
1 Windows®95のデスクトップ画面の「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」をクリックしてください。

2 「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックしてください。



3 「現在のネットワーク構成」欄に「TCP/IP」が表示されている場合は、すでにインストールは完了しています。

「TCP/IP」が表示されていない場合は「追加」をクリックしてください。

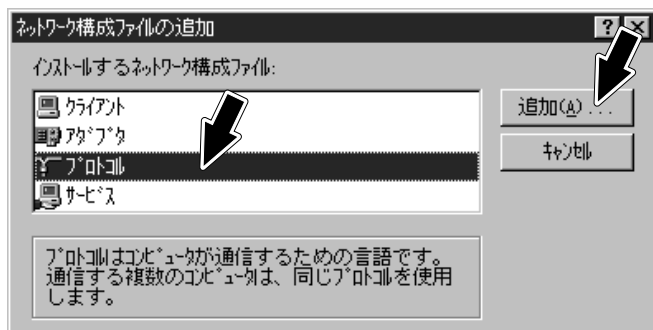


インターネットへ接続する (Windows® 95)

留意事項

- 「ダイヤルアップアダプタ」がインストールされていない場合は、Windows® 95のシステムCD-ROMからインストールしてください。

4 「ネットワーク構成ファイルの追加」画面が開きますので、「プロトコル」をクリックして、「追加」をクリックしてください。



5 「ネットワークプロトコルの選択」画面が表示されますので、「製造元」欄の「Microsoft」、「ネットワークプロトコル」欄の「TCP/IP」をクリックし、「OK」をクリックしてください。



6 再度、「ネットワーク」画面が開き「TCP/IP」が追加されているのを確認することができます。

インターネットへ接続する (Windows®95)

- 7 「ネットワーク」画面の「ダイヤルアップアダプタ」をクリックして「プロパティ」をクリックしてください。



留意事項

- ダイヤルアップアダプタがない場合は、「追加」ボタンをクリックして、「アダプタ」をインストールしてください。詳しいインストール方法はご使用のパソコンメーカ等へご確認ください。

- 8 「ダイヤルアップアダプタのプロパティ」が開きますので、「バインド」タブをクリックし、表示されているプロトコルの中から「TCP/IP」のチェックボックスをクリックして「OK」をクリックしてください。「ネットワーク」画面に戻りますので「OK」をクリックしてください。これで、「ネットワークプロトコル」のインストールが完了しました。

留意事項

- 再起動により、ネットワークプロトコル「TCP/IP」が有効になります。
- その他の「ネットワークプロトコル」のインストールについては、他の関連する書籍などをご覧ください。



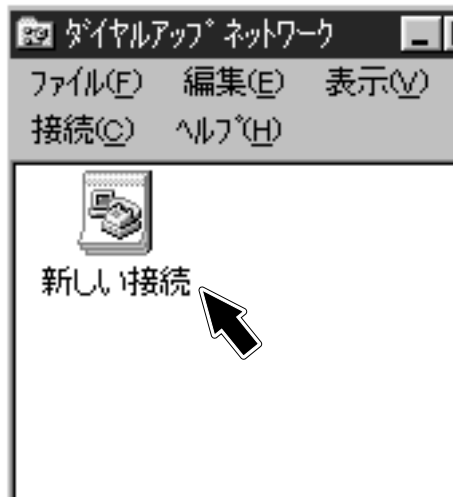
◇STEP2 ダイアルアップ ネットワークを設定する

「ダイアルアップネットワーク」がインストールされていない場合は、Windows®95のデスクトップ画面の「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」からインストールします。「Windowsファイル」タブ→「通信」→「詳細」→「ダイアルアップネットワーク」を選択し、「OK」をクリックしてインストールした後、以下の設定を行って下さい。詳しいインストール方法はパソコンなどの取扱説明書をご参照ください。

- 1 デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリックして開き、「ダイアルアップネットワーク」をダブルクリックしてください。




- 2 「ダイアルアップネットワーク」の中の「新しい接続」をダブルクリックしてください。



インターネットへ接続する (Windows® 95)

3


「新しい接続」画面が開きますので「接続名」欄に「接続名」(プロバイダ名等)を入力してください。「モデムの選択」欄の  ボタンをクリックし、プルダウンメニューから「OMRON ME5614D2」(または「OMRON ME5614E2」)を選択した後、「次へ」をクリックしてください。



4

次の「新しい接続」画面の「市外局番」欄、「電話番号」欄、「国番号」欄を入力してください。「次へ」をクリックしてください。

「電話番号の入力」欄

- 市外局番 アクセスポイントの市外局番
- 電話番号 アクセスポイントの電話番号
- 国番号  ボタンをクリックし、プルダウンメニューから「日本 (81)」を選択してください。



インターネットへ接続する (Windows® 95)

5 次の「新しい接続」画面が開きますので、「完了」をクリックしてください。



6 「ダイヤルアップネットワーク」画面に新しいアイコン「OMRON」が追加されます。新しく追加された「OMRON」アイコンを選択し、「ファイル」→「プロパティ」をクリックしてください。



7 「OMRON」のプロパティ画面が開きますので「サーバーの種類」をクリックしてください。



インターネットへ接続する (Windows® 95)

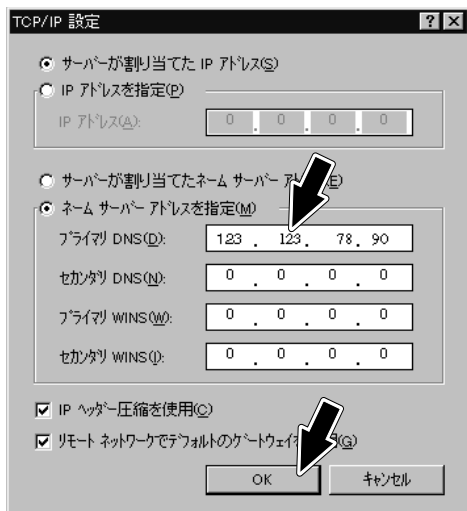
8

「プロパティ」画面が開きますので「サーバーの種類」タブをクリックしてください。「使用できるネットワークプロトコル」欄の「TCP/IP」だけチェックし、「TCP/IP設定」をクリックしてください。



9

「名前サーバーアドレスを指定」欄の「プライマリDNS」にプロバイダから与えられたアドレス (24ページのプロバイダ情報を参照) 例: 123.123.78.90を入力し、入力が済んだら「OK」をクリックしてください。プロバイダからDNSアドレスが提供されていない場合は、「サーバーが割り当てた名前サーバーアドレス」をクリックし、「OK」をクリックしてください。「プロパティ」画面に戻ります。「プロパティ」画面の「OK」をクリックしてください。デスクトップ画面に戻ります。「ダイヤルアップネットワーク」の設定が完了しました。



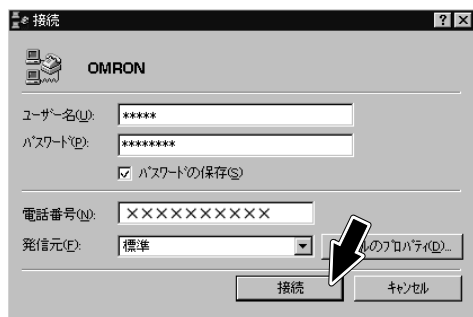
インターネットへ接続する (Windows® 95)

◇STEP3 インターネットへ接続する

インターネットへ接続するためにはホームページを閲覧するためのブラウザソフトがインストールされている必要があります。ここではブラウザソフトとして「インターネットエクスプローラ」を使用します。

1 デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリックして「ダイヤルアップネットワーク」をクリックしてください。「ダイヤルアップネットワーク」画面が開き「OMRON」アイコンが表示されます。

2 「OMRON」アイコンをダブルクリックしてください。「接続」画面が表示されますので「ユーザー名」と「パスワード」を入力し「接続」をクリックしてください。37ページの手順4で設定したアクセスポイントへのダイヤルが始まり、接続が開始されます。



- ・ エラーメッセージが表示されて、接続できない
→124ページ参照
- ・ 接続スピードが遅い
→126ページ参照
- ・ ホームページの表示が遅い
→126ページ参照

3 プロバイダへの接続が完了したら、デスクトップ画面にある「インターネットエクスプローラ」のアイコンをダブルクリックしてください。「インターネットエクスプローラ」が起動します。


インターネットへ接続する (Windows® 95)

4 インターネットエクスプローラのアドレス欄に「http://www.omron.co.jp/ped-j/index.html」と入力してください。OMRON株式会社のホームページが表示されます。



エラーメッセージが表示され、ホームページが開けない
→127ページ参照

5 「インターネットエクスプローラ」の終了
「ファイル」メニューをクリックしてプルダウンメニューから「閉じる」を選択してください。「インターネットエクスプローラ」が終了します。

6 プロバイダへの接続を切断します。デスクトップのタスクバーに格納されているダイヤルアップアイコン  をクリックしてください。「接続」画面が表示されます。


7 「接続」画面の「切断」をクリックしてください。「OMRONへの切断を終了しますか?」というメッセージが表示された場合は「はい」をクリックしてください。
プロバイダへの接続が切断されます。

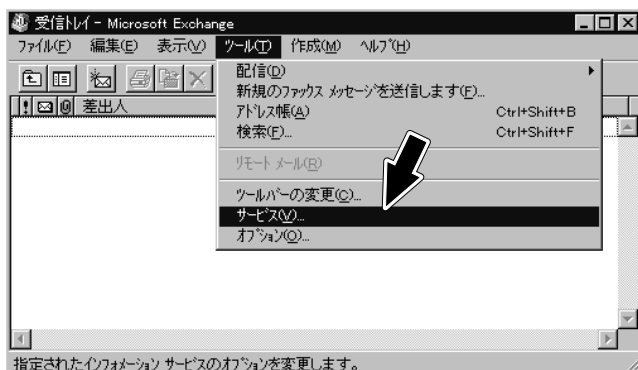
留意事項

- ここで、「切断」をクリックして切断処理を行わないと、回線は接続されたままになります。
必ず「切断」をクリックしてください。

●FAXを送る...Windows®95

Microsoft-Faxで、Faxモデムを使用する場合のセットアップ方法を説明します。
実際にご使用になる場合は、「スタート」→「設定」→「プリンタ」を選択し、「Microsoft Fax」アイコンをクリック→「ファイル」→「通常使うプリンタに設定」を選んでおいてください。

- 1 デスクトップの受信トレイアイコンをダブルクリックし、「Microsoft Exchange」を起動し、「ツール」→「サービス」をクリックしてください。



- 2 「サービス」の画面で、サービス内の「Microsoft Fax」をクリックし、ブルーの反転表示としてから、「プロパティ」をクリックしてください。

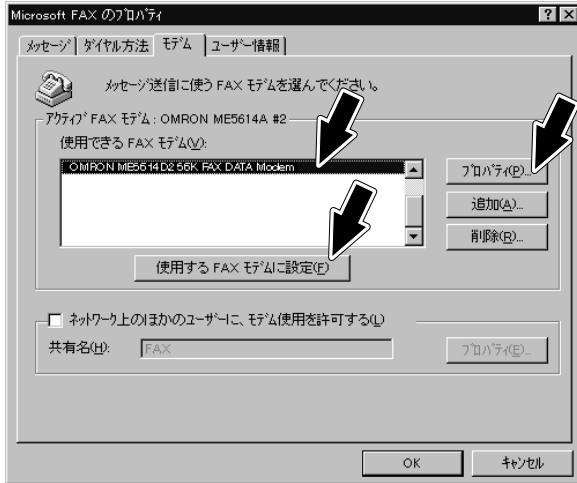


FAXを送る (Windows® 95)

3

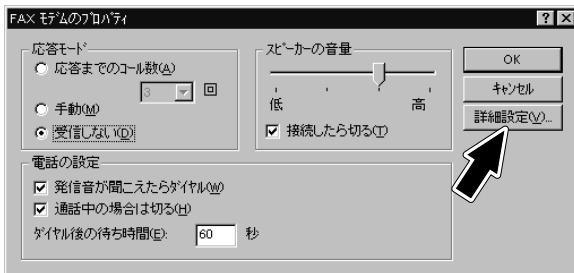
「Microsoft FAXのプロパティ」の画面で、「モデム」をクリックし、「使用できるFAXモデム」の一覧から、「ME5614D2」(または「ME5614E2」)をクリックし、ブルーの反転表示としてから、「使用するFAXモデムに設定」のボタンをクリックしてください。クリック後「アクティブFAXモデム」が、ME5614D2(または「ME5614E2」)になっていることを確認してください。

確認後、「プロパティ」をクリックしてください。



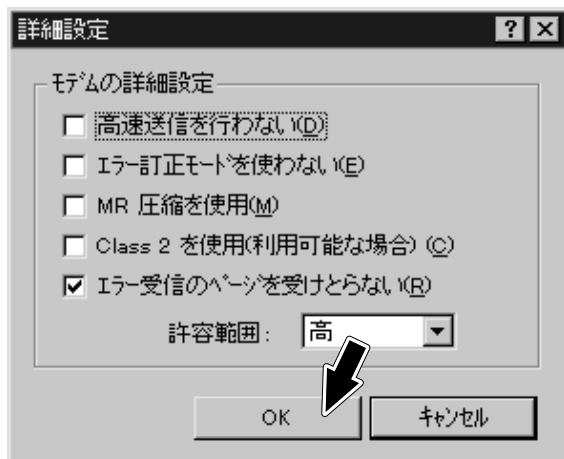
4

「FAXモデムのプロパティ」の画面で、「応答モード」、「スピーカーの音量」、「電話の設定」の各設定を必要により行って頂き、「詳細設定」をクリックしてください。

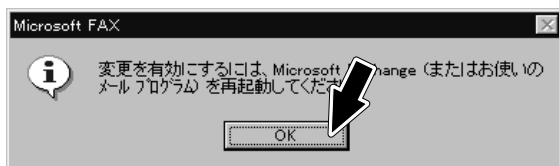


F A X を送る (Windows® 95)

- 5 「詳細設定」の画面で、下記のようにチェックボックスにチェックマークを付けて、「OK」をクリックしてください。



- 6 下のようなメッセージが表示される場合がありますので、「OK」をクリックしてください。



以上で設定は完了です。それぞれの画面で「OK」をクリックし、最初の表示画面まで戻ってください。そして上図のメッセージどおり、「Microsoft Exchange」をいったん終了し、パソコンを再起動してください。

セットアップは以上で終了しました。

詳しい使用方法については、各パソコンメーカーへご確認ください。

●セットアップをする...Windows® Me/98

「ドライバ(INFファイル)」のインストール

前章の「準備する」の手順に従って、モデムとパソコンを接続し、電話回線との接続ができれば、「ドライバ(INFファイル)」をパソコンにインストール(組込み)します。そのとき、ご使用のパソコンの種類に対応した事前準備が必要です。

◇パソコンの通信ポートを設定する

パソコンとモデム間でデータの送受信をするための通信ポートの設定は各インターネット接続ソフトまたは通信ソフト上で行います。

インターネット接続ソフトまたは通信ソフトのインストール後に設定方法をご覧になり、設定してください。

◇プロバイダ情報やソフトウェアを用意する

●プロバイダ情報

インターネットに接続するには、加入されたプロバイダから与えられた次の情報が必要です。設定の際に必要なになりますのでお手元に置いておいてください。

- ① ドメイン・ネーム (例:XXX.XXXXXX.or.jp)
- ② ドメイン・ネーム・サーバーIPアドレス (例:123.123.78.90)
- ③ 接続アカウント (例:umw11122)
- ④ 接続パスワード (例:DdcjHbkk)
- ⑤ アクセスポイントの電話番号

プロバイダの通信方式がV.90であるかご確認ください。詳しくは各プロバイダにお問い合わせください。プロバイダにまだご加入でない場合は、市販の書籍などを参考にしてお加入ください。

●インターネット接続ソフトウェア

Windows®98やWindowsNT®に標準で装備されている「ダイヤルアップネットワーク」を使用します。インストールされていない場合は、お手持ちのWindows®Me/98のシステムCD-ROMからインストールしてください。

インターネットへ接続しない方は不要です。

ドライバをインストールする (Windows®Me/98)

●ドライバをインストールする...Windows®Me/98

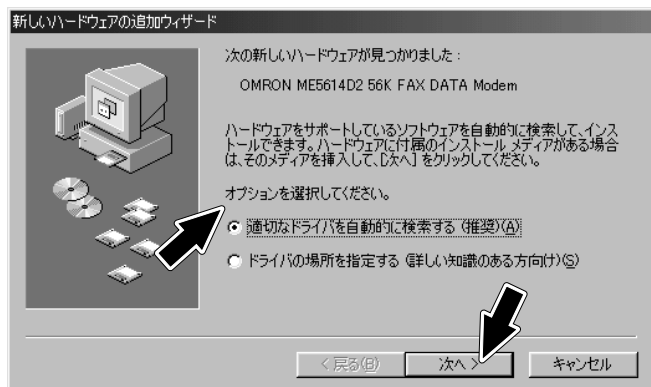
本モデムの「ドライバ(INFファイル)」は添付CD-ROMに入っています。添付CD-ROMからインストールしてください。「ドライバ(INFファイル)」のインストールが済むと電話回線で使用することができます。

留意事項

- Windows®Meの画面を参照して説明しています。画面の表示が異なる場合がありますが、その場合は画面の指示に従ってください。インストール手順は一部分けて記載していますので、Windows®98をご利用の方はP48へ進んでください。また画面はME5614D2を例にしています。

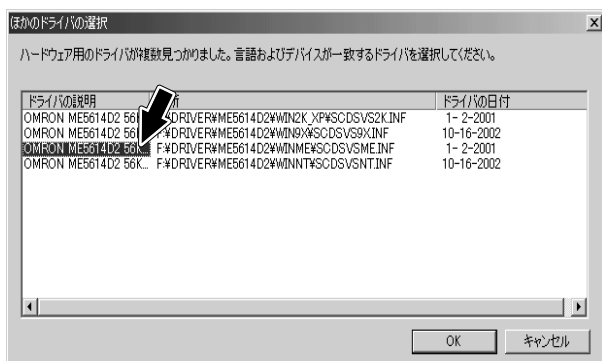
《Windows®Meの場合》

- 1 パソコンの電源をOFFの状態にしてください。
- 2 パソコンとモデムを接続した状態で、モデム→パソコンの順で電源を入れてください。「新しいハードウェアが検出されました」と表示されますのでME5614D2(またはME5614E2)に添付のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに挿入してください。
- 3 「適切なドライバを自動的に検索する(推奨)」をチェックして、「次へ」をクリックしてください。



ドライバをインストールする (Windows® Me/98)

- 4 「他のドライバの選択」画面が表示されます。
表示されたドライバの「場所」から「WINME」の表示があるドライバ名をクリックし、「OK」をクリックしてください。



- 5 [完了] ボタンをクリックしてください。



これでドライバのインストールが完了しました。
次にモデムとパソコンの接続を確認します。
P52へ進んでください。

ドライバをインストールする (Windows®Me/98)

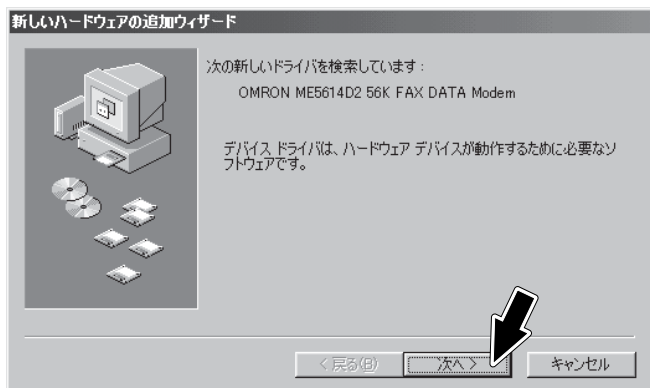
《Windows®98の場合》

1 パソコンの電源をOFFの状態にしてください。

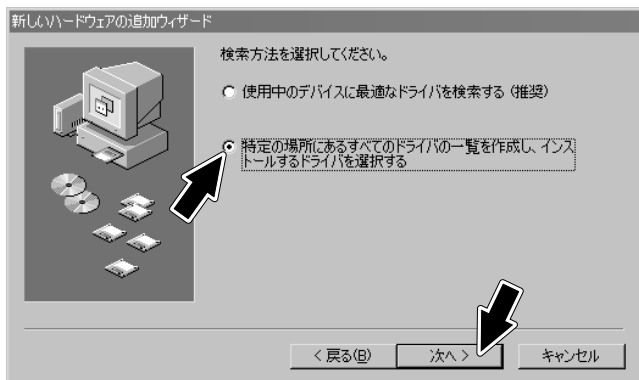
2 パソコンとモデムを接続した状態で、モデム→パソコンの順で電源を入れてください。Windows®98が起動し、「新しいハードウェアが検出されました」と表示され、ドライバ情報 データベースが作成された後、「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されますので「次へ」をクリックしてください。



「新しいハードウェアが検出されました」と表示されない
→122ページ参照

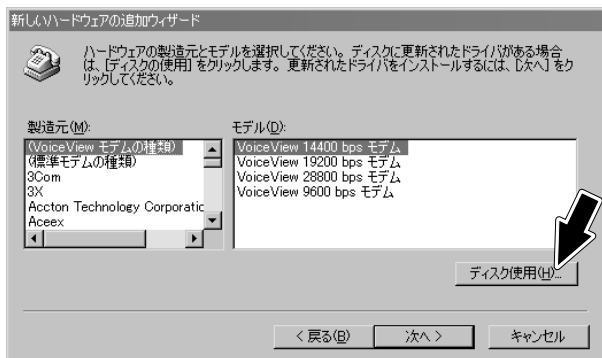


3 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面の「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧表を作成し、インストールするドライバを選択する」を選択し、「次へ」をクリックしてください。

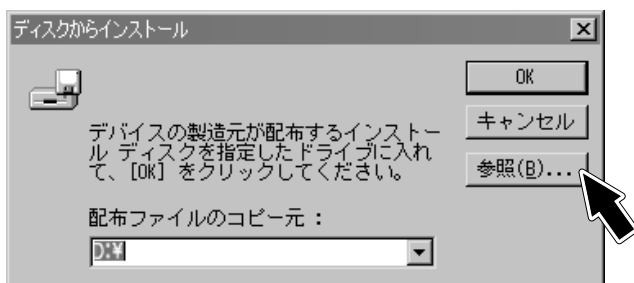


ドライバをインストールする (Windows® Me/98)

4 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面の「ディスク使用」をクリックしてください。

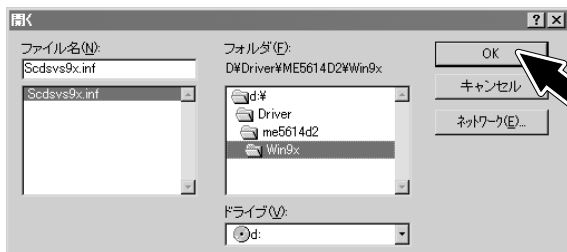


5 「ディスクからインストール」画面が表示されたら、添付されているCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入し、「参照」をクリックしてください。



ドライバをインストールする (Windows® Me/98)

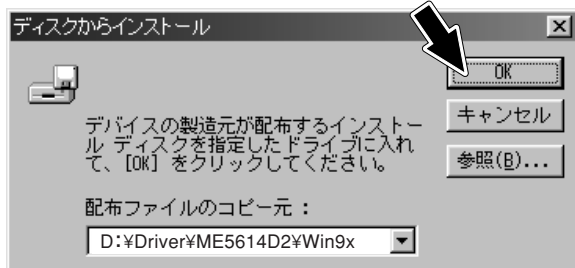
- 6** 「ドライブ」欄でCD-ROMを挿入したドライブ(この例ではDドライブ)を選択してください。ディレクトリが表示されますので、「Driver」→「me5614d2」(または「me5614e2」)→「Win9x」フォルダの順にダブルクリックしてください。「ファイル名」欄に「Scdsvs9x.inf」が表示されますので「OK」をクリックしてください。



- 7** 「配布ファイルのコピー元」欄に下記のコマンドラインが表示されていることを確認して「OK」をクリックしてください。

D:¥Driver¥ME5614D2¥Win9x または D:¥Driver¥ME5614E2¥Win9x

* 「D:」はお手持ちのパソコンによって異なります。



- 8** 「モデル」欄に表示されるモデル名の中から、「OMRON ME5614D2(または「ME5614E2」56K FAX DATA MODEM)」をクリックして、「次へ」をクリックしてください。

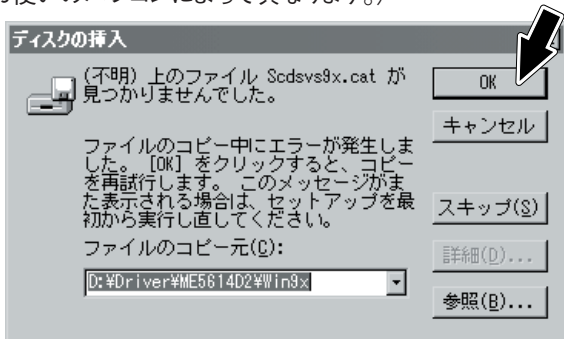


ドライバをインストールする (Windows® Me/98)

- 9 再度、「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が開き、「次のデバイス用のドライバファイルを検索します」と表示され、検索した「モデム設定ファイル」のディレクトリが表示されますので、「次へ」をクリックしてください。



- 下記の画面が表示される場合は、「ファイルのコピー元」に「D:\Driver\ME5614D2\Win9x」（または「ME5614E2」）\Win9x」と入力し、「OK」をクリックしてください。（D:はお使いのパソコンによって異なります。）



- 10 「新しいハードウェアデバイスに必要な選択したソフトウェアがインストールされました。」と表示されますので「完了」をクリックしてください。



これでドライバのインストールが完了しました。
次に、モデムとパソコンの接続を確認します。

ドライバをインストールする (Windows®Me/98)

11 接続を確認する。
インストールした「ドライバ(INFファイル)」とパソコンに接続したME5614D2(またはME5614E2)が正常に動作することを以下の手順で確認します。


- 1) Windows®98のデスクトップ画面の「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」をクリックしてください。「コントロールパネル」が開きますので、「モデム」のアイコンをダブルクリックしてください。



- 2) プロパティ画面の「検出結果」タブをクリックして開いてください。ME5614D2(またはME5614E2)が表示されているポートのアイコンをクリックして「詳細情報」をクリックしてください。通信が完了すると「詳細情報」画面が表示されます。



ドライバをインストールする (Windows® Me/98)

- 3) 「詳細情報」画面のAT14の列にME5614D2(またはME5614E2)を確認できたら接続は完了です。(AT14以外はパソコンによって表示内容が異なります。)
「詳細情報」画面の「OK」をクリックしプロパティの「OK」、コントロールパネルの  ボタンをクリックしてWindows®98のデスクトップ画面に戻ってください。



詳細情報を開こうとすると、
エラーメッセージが表示される
→123ページ参照

これでドライバのインストール及びモデムとパソコンの接続の確認が完了しました。

インターネットへ接続する (Windows® Me/98)

●インターネットへ接続する...Windows® Me/98

◇STEP1 ネットワークプロトコル (TCP/IP)をインストールする

インターネットに接続するためには「ネットワークプロトコル(TCP/IP)」をインストールする必要があります。もし、すでに「TCP/IP」がインストールしてある場合は、次の「手順3 ダイアルアップネットワークを設定する」に進んでください。

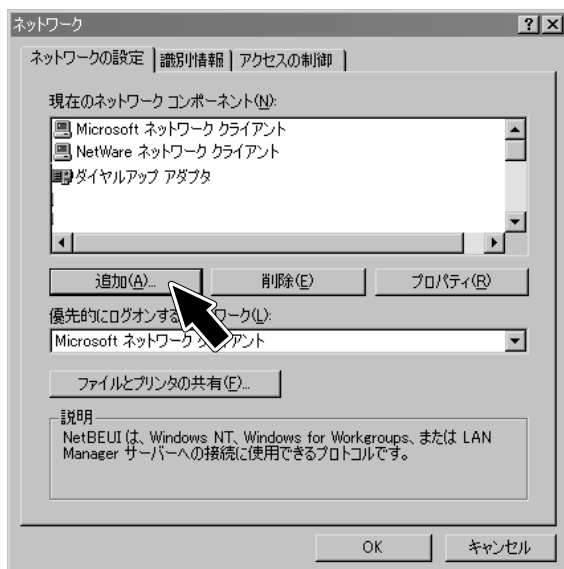
1 Windows98®のデスクトップ画面の「マイコンピュータ」→「設定」→「コントロールパネル」をクリックしてください。

2 「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックしてください。



インターネットへ接続する (Windows® Me/98)

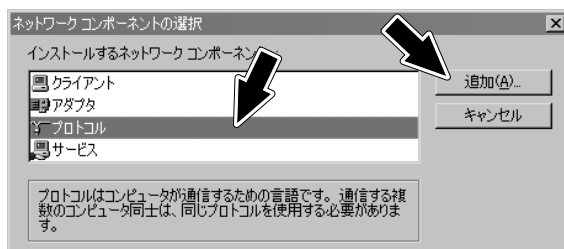
- 3** 「現在のネットワークコンポーネント」欄に「TCP/IP」が表示されている場合は、すでにインストールは完了しています。
「TCP/IP」が表示されていない場合は「追加」をクリックしてください。



留意事項

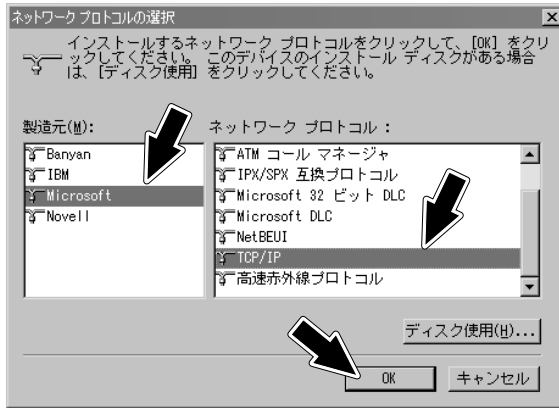
- 「ダイヤルアップアダプタ」がインストールされていない場合はWindows®98のシステムCD-ROMからインストールしてください。詳しいインストール方法はご使用のパソコンメーカー等へご確認ください。

- 4** 「ネットワークコンポーネントの選択」画面が開きますので、「プロトコル」をクリックして、「追加」をクリックしてください。



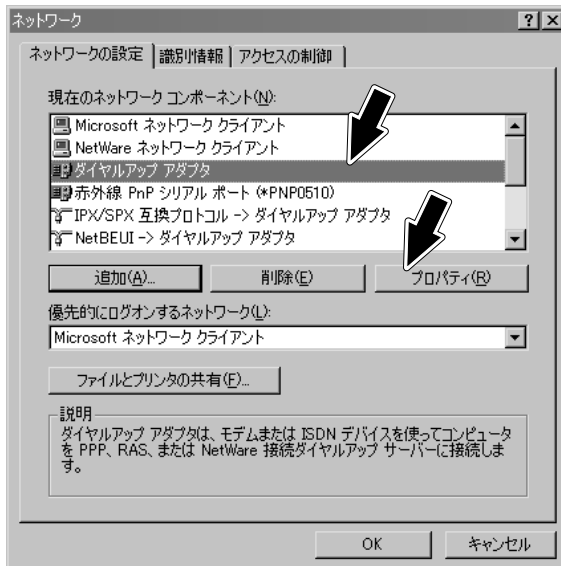
インターネットへ接続する (Windows® Me/98)

5 「製造元」欄の「Microsoft」、「ネットワークプロトコル」欄の「TCP/IP」をクリックし、「OK」をクリックしてください。



6 再度、「ネットワーク」画面が開き「TCP/IP」が追加されているのを確認することができます。

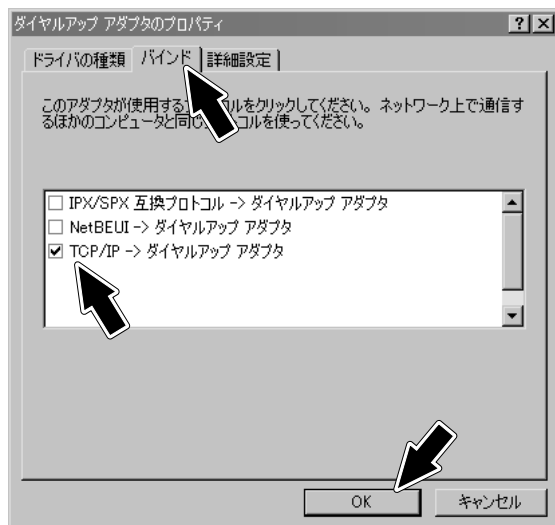
7 「ネットワーク」画面の「ダイヤルアップアダプタ」をクリックして「プロパティ」をクリックしてください。



インターネットへ接続する (Windows® Me/98)

8

「バインド」タブをクリックし、表示されているプロトコルの中から「TCP/IP」のチェックボックスをクリックして「OK」をクリックしてください。「ネットワーク」ウインドウに戻りますので「OK」をクリックしてください。これで、「ネットワークプロトコル」のインストールが完了しました。



留意事項

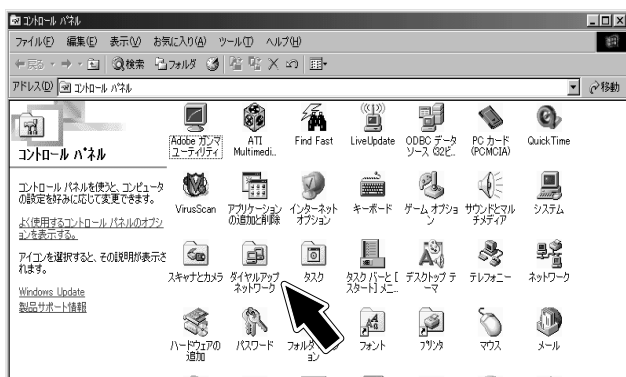
- 再起動により、ネットワークプロトコル「TCP/IP」が有効になります。
- その他の「ネットワークプロトコル」のインストールについては、他の関連する書籍などをご覧ください。

インターネットへ接続する (Windows® Me/98)

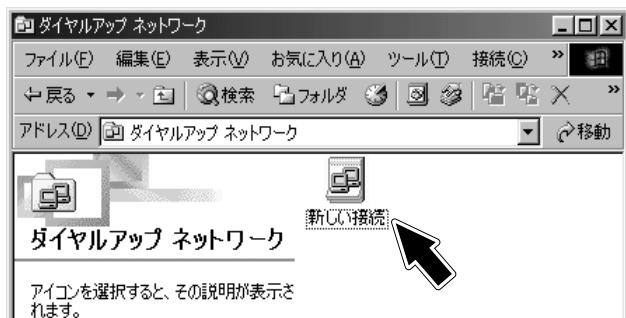
◇STEP2 ダイアルアップ ネットワークを設定する

「ダイアルアップネットワーク」がインストールされていない場合は、Windows®Me/98のデスクトップ画面の「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」からインストールします。「Windows ファイル」タブ→「通信」→「詳細」→「ダイアルアップネットワーク」を選択し、「OK」をクリックしてインストール後、以下の設定を行ってください。詳しいインストール方法はパソコンなどの取扱説明書をご参照ください。

- 1 デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリックして「コントロールパネル」の中の「ダイアルアップネットワーク」をダブルクリックしてください。
(Windows®98の場合は、「マイコンピュータ」をダブルクリックして「ダイアルアップネットワーク」をダブルクリックしてください。)

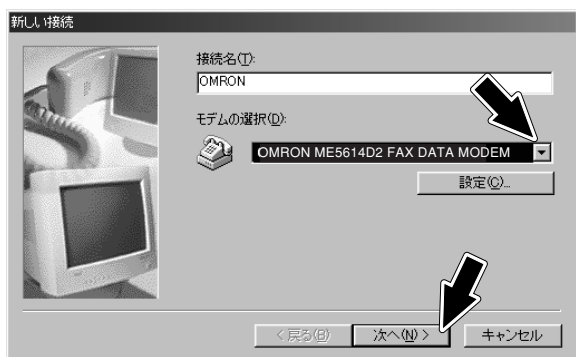


- 2 「ダイアルアップネットワーク」の中の「新しい接続」をダブルクリックしてください。



インターネットへ接続する (Windows® Me/98)

- 3** 「接続名」欄に「接続名」(プロバイダ名等)を入力してください。「モデムの選択」欄の ボタンをクリックし、プルダウンメニューから「OMRON ME5614D2 FAX DATA MODEM」を選択した後、「次へ」をクリックしてください。



- 4** 次の「新しい接続」画面の「市外局番」欄、「電話番号」欄、「国番号」欄を入力してください。「次へ」をクリックしてください。

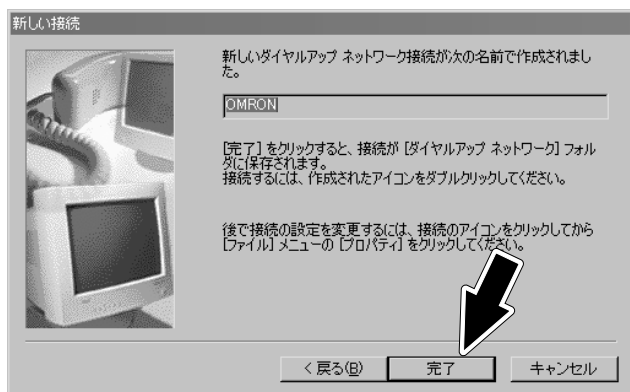
「電話番号の入力」欄

- ・ 市外局番 アクセスポイントの市外局番
- ・ 電話番号 アクセスポイントの電話番号
- ・ 国番号 ボタンをクリックし、プルダウンメニューから「日本 (81)」を選択してください。

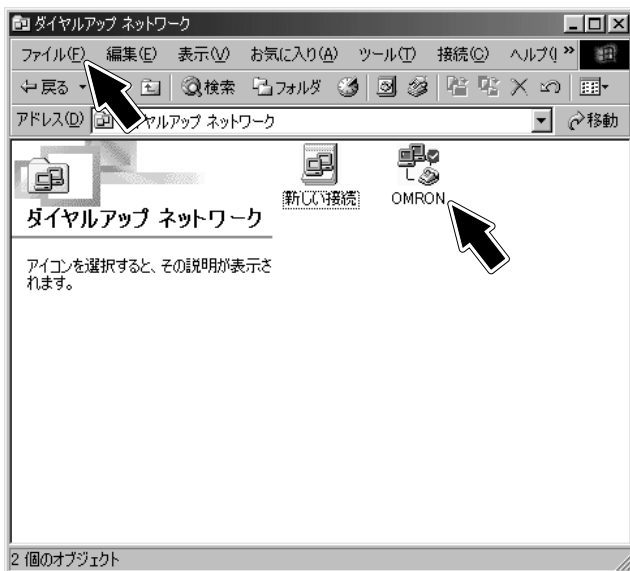


インターネットへ接続する (Windows® Me/98)

5 次の「新しい接続」画面が開きますので、「完了」をクリックしてください。



6 「ダイヤルアップネットワーク」画面に、新しいアイコン「OMRON」が追加されます。新しく追加された「OMRON」アイコンを選択し、「ファイル」→「プロパティ」をクリックしてください。

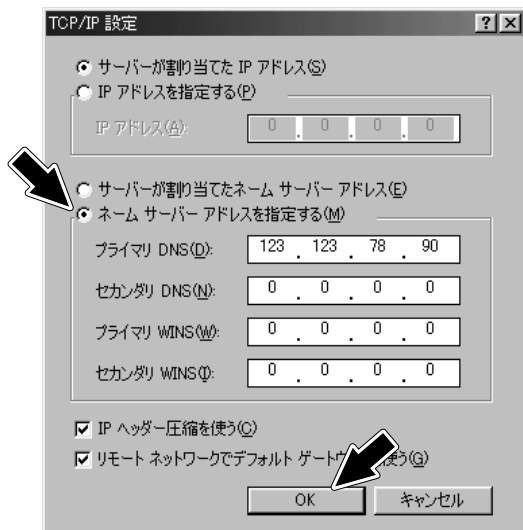


インターネットへ接続する (Windows® Me/98)

- 7** 「OMRON」のプロパティ画面が開きますので「ネットワーク」タブをクリックしてください。「詳細オプション」欄は、すべてチェックを外してください。「使用できるネットワークプロトコル」欄の「TCP/IP」だけチェックし、「TCP/IP設定」をクリックしてください。



- 8** 「名前サーバーアドレスを指定」欄の「プライマリDNS」にプロバイダから与えられたアドレス (45ページのプロバイダ情報参照) 例:123.123.78.90を入力し、入力が済んだら「OK」をクリックしてください。プロバイダからDNSアドレスが提供されていない場合は、「サーバが割り当てた名前サーバアドレス」をクリックし、「OK」をクリックしてください。「プロパティ」画面に戻ります。「プロパティ」画面の「OK」をクリックしてください。デスクトップ画面に戻ります。「ダイヤルアップネットワーク」の設定が完了しました。



インターネットへ接続する (Windows® Me/98)

◇STEP3 インターネットへ接続する

インターネットへ接続するためにはホームページを閲覧するためのブラウザソフトがインストールされている必要があります。ここではブラウザソフトとして「インターネットエクスプローラ」を使用します。

1 デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリックして「コントロールパネル」の中の「ダイヤルアップネットワーク」をダブルクリックしてください。「ダイヤルアップネットワーク」画面が開き「OMRON」アイコンが表示されます。

2 「OMRON」アイコンをダブルクリックしてください。「接続」画面が表示されますので「ユーザー名」と「パスワード」を入力し「接続」をクリックしてください。59ページの手順4で設定したアクセスポイントへのダイヤルが始まり、接続が開始されます。




- ・ エラーメッセージが表示されて、接続できない
→124ページ参照
- ・ 接続スピードが遅い
→126ページ参照
- ・ ホームページの表示が遅い
→126ページ参照

3 プロバイダへの接続が完了したら、デスクトップ画面にある「インターネットエクスプローラ」アイコンをダブルクリックしてください。「インターネットエクスプローラ」が起動します。

インターネットへ接続する (Windows® Me/98)

4 インターネットエクスプローラのアドレス欄に「http://www.omron.co.jp/ped-/j/index.html」と入力してください。OMRON株式会社のホームページが表示されます。




エラーメッセージが表示され、ホームページが開けない
→127ページ参照

5 「インターネットエクスプローラ」の終了。
「ファイル」メニューをクリックしてプルダウンメニューから「閉じる」を選択してください。
「インターネットエクスプローラ」が終了します。

6 プロバイダへの接続を切断します。
デスクトップのタスクバーに格納されているダイヤルアップアイコンをクリックしてください。「接続」画面が表示されます。

7 「接続」画面の「切断」をクリックしてください。「OMRONへの切断を終了しますか?」というメッセージが表示された場合は「はい」をクリックしてください。
プロバイダへの接続が切断されます。
ここで、「切断」をクリックして切断処理を行わないと、回線は接続されたままになります。
必ず「切断」をクリックして下さい。

●セットアップをする...Windows®Server™2003/XP/2000

◇プロバイダ情報やソフトウェアを用意する

● プロバイダ情報

インターネットに接続するには、加入されたプロバイダから与えられた次の情報が必要です。設定の際に必要なになりますのでお手元に置いておいてください。

- ①ドメイン・ネーム (例：XXX.XXXXXX.or.jp)
- ②ドメイン・ネーム・サーバー IP アドレス (例：123.123.78.90)
- ③接続アカウント (例：umw11122)
- ④接続パスワード (例：DdcjHbkk)
- ⑤アクセスポイントの電話番号

プロバイダの通信方式がV.90であるかご確認ください。詳しくは各プロバイダにお問い合わせください。プロバイダにまだご加入でない場合は、市販の書籍などを参考にしてご加入ください。

● インターネット接続ソフトウェア

Windows®XPに標準で装備されている「ネットワーク接続」(Windows®2000の場合は、「ネットワークとダイヤルアップ接続」)を使用します。インストールされていない場合は、お手持ちのWindows®Server™2003/XP/2000のシステムCD-ROMからインストールしてください。

インターネット接続しない方は不要です。

ドライバをインストールする (Windows® Server™2003/XP/2000)

●ドライバをインストールする...Windows® Server™2003/XP/2000

本モデムの「ドライバ (INF ファイル)」は添付 CD-ROM に入っています。添付 CD-ROM からインストールしてください。「ドライバ (INF ファイル)」のインストールが済むと電話回線で使用することができます。

留意事項

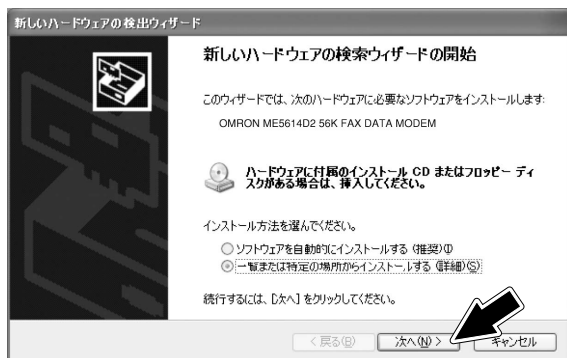
- パソコンやシステムの状態によっては、インストールの手順や画面の表示が異なることがあります。その場合は画面の指示に従ってください。画面は ME5614D2 を例にしています。

■プラグ&プレイによるインストール

〈Windows® Server™2003/XP の場合〉

Windows®2000 をお使いの場合は、P71 ~ P72 をご覧ください。

- 1 取扱説明書の「準備する」の手順に従って、モデムとパソコンを接続し、モデム→パソコンの順に電源を入れてください。
- 2 「一覧または特定の場所からインストールする (詳細)」にチェックし、添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入してください。
「次へ」をクリックしてください。



「リムーバブルメディア (フロッピー、CD-ROM) などを検索」にチェックマークが入っていたら外してください。

次の画面で「次の場所を含める」にチェックマークをつけてください。

「D:¥Driver¥ME5614D2¥Win2K_XP」または (「D:¥Driver¥ME5614E2¥Win2K_XP」) と入力し、「次へ」をクリックしてください。

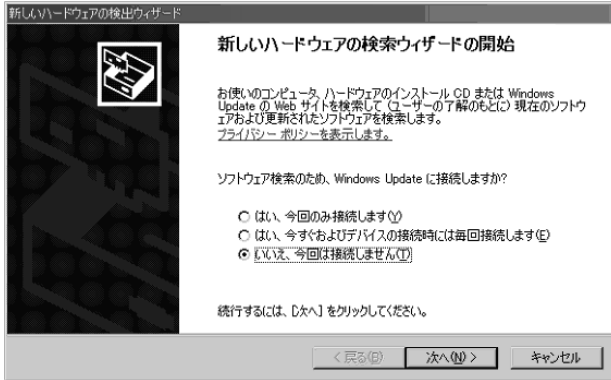
(D:¥は CD-ROM ドライブです。ご使用のパソコンによって異なります。)

ドライバをインストールする (Windows® Server™2003/XP/2000)

<Windows®XP SP2 (ServicePack2)の場合>

Windows®XP SP2の場合は下記画面が出る場合がございます。

「いいえ、今回は接続しません (T)」にチェックし、「次へ」をクリックしてください。



3

ドライバが自動的に読み込まれ、インストールが開始されます。



ドライバをインストールする (Windows® Server™2003/XP/2000)

4 下の画面が表示されますが、「続行(C)」をクリックしてインストールを続けてください。



5 「完了」をクリックしてください。以上でインストールが完了しました。



ドライバをインストールする (Windows® Server™2003/XP/2000)

6

インストール結果を確認する。

「ドライバ(INFファイル)」が正常にインストールされていることを確認します。

- 1) Windows®XP...「スタート」→「コントロールパネル」→「システム」をダブルクリックしてください。

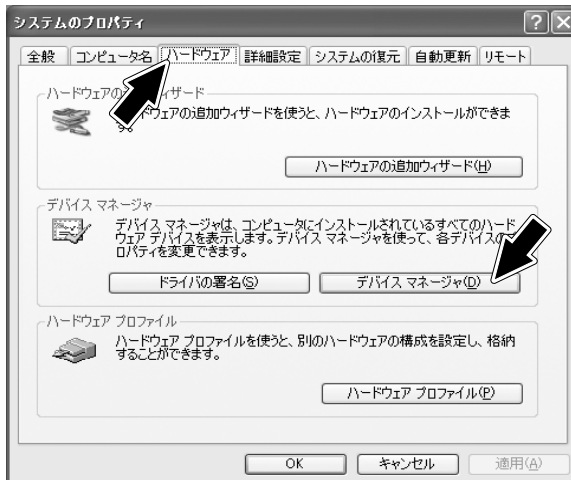
Windows®2000...「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「システム」をダブルクリックしてください。



参照

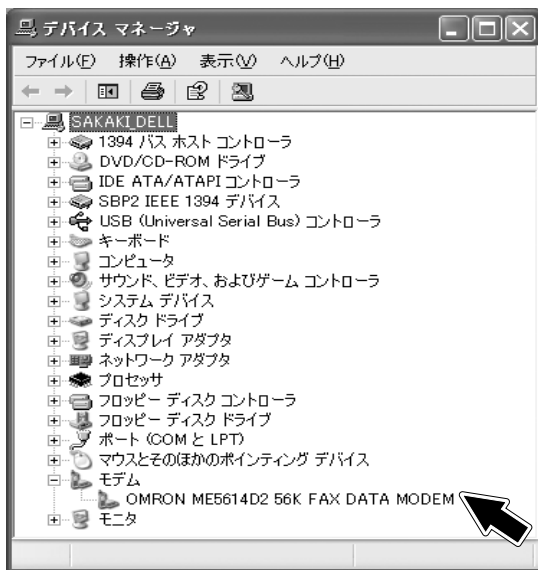
この手順は Windows®XP クラシック表示のコントロールパネルの場合で説明します。画面表示が異なる場合には、画面左上の「クラシック表示に切り替える」をクリックしてください。

- 2) 「ハードウェア」タブをクリックしてください。デバイスマネージャの欄で「デバイスマネージャ」をクリックしてください。



ドライバをインストールする (Windows® Server™2003/XP/2000)

- 3) モデムの欄の左側の **+** をクリックし、「OMRON ME5614D2 (またはME5614E2) 56K FAX DATA MODEM」と表示されていればインストールは完了です。



- 4) ウィンドウ右上の **X** をクリックしてウィンドウを閉じてください。

7 接続を確認する。

- 1) 「スタート」(Windows®2000の場合は、「スタート」→「設定」)→「コントロールパネル」→「電話とモデムのオプション」のアイコンをダブルクリックし、「モデム」タブをクリックしてください。

「OMRON ME5614D2 (またはME5614E2) 56K FAX DATA MODEM」が表示されているポートをクリックして「プロパティ」をクリックしてください。



初めての場合、所在地情報を入力する必要があります。
ダイヤル元の市外局番を入力して「OK」をクリックしてください。

ドライバをインストールする (Windows® Server™2003/XP/2000)

- 2) 「診断」タブをクリックし、「モデムの照会」をクリックしてください。ATI4の列に「OMRON ME5614D2(またはME5614E2)」を確認できたら接続は完了です。(ATI4以外はパソコンによって表示内容が異なります。)[OK]をクリックして、Windows®XP/2000のデスクトップに戻ってください。



これでドライバのインストール及びモデムとパソコンの接続の確認が完了しました。

万一、プラグ&プレイ機能が作動せず、上記1～7の確認がとれない場合は、手動でドライバをインストールしてください。

手動でのインストール方法は以下にしたがってください。

次はインターネット接続の設定を確認します。

80ページへ進んでください。

ドライバをインストールする (Windows® Server™2003/XP/2000)

■ プラグ&プレイによるインストール

〈Windows®2000 の場合〉

- 1** 取扱説明書の「準備する」の手順に従って、モデムとパソコンを接続し、モデム→パソコンの順に電源を入れてください。
- 2** 「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されます。
添付のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに挿入して、「次へ」をクリックしてください。
- 3** 「ハードウェアデバイスドライバのインストール」画面で「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」にチェックを入れて「次へ」をクリックしてください。
- 4** 「ハードウェアの種類」で「モデム」をクリックしてください。「次へ」をクリックしてください。
- 5** 「新しいモデムのインストール」画面で「ディスク使用」をクリックしてください。
- 6** 「フロッピーディスクからインストール」画面の「参照」をクリックしてください。
以下の画面で「ファイルの場所」から「ME5614D2_E2(D:)」(CD-ROMドライブ)→「Driver」→「ME5614D2」(または「ME5614E2」)→「Win2K_XP」の順にダブルクリックし、「ファイル名」欄に「Scdsvs2k」が表示されていることを確認し、「開く」をクリックしてください。

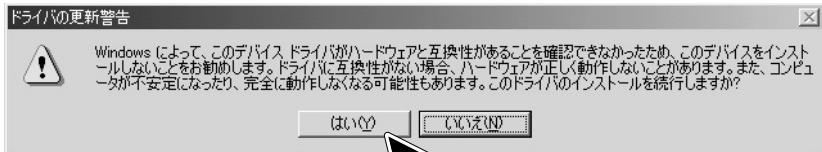


ドライバをインストールする (Windows® Server™2003/XP/2000)

7 「フロッピーディスクからインストール」画面に戻りますので、「製造元のファイルのコピー元」に「D:¥Driver¥ME5614D2¥Win2K_XP」と表示されたことを確認し、「OK」をクリックしてください。

8 「モデル」欄の「OMRON ME5614D2 56K FAXDATA MODEM」をクリックし、「次へ」をクリックしてください。

9 「ドライバーの更新警告」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。



10 「デバイスドライバのインストール開始」画面で「OMRON ME5614D2 56K FAXDATA MODEM」が表示されていることを確認し、「次へ」をクリックしてください。

11 「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

12 「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示されたら「完了」をクリックしてください。以上でインストールが完了しました。

P68の「6」の画面に戻ってください。

ドライバをインストールする (Windows® Server™2003/XP/2000)

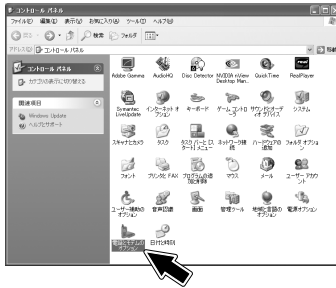
■手動インストール方法

以下は、Windows®Server™2003/XPの画面で説明します。Windows®2000の場合は、以下を参考に設定してください。

留意事項

- プラグ&プレイ機能が作動しない場合、以下の手順にしたがってドライバを手動インストールできます。正常にインストールができた場合には、「STEP2 ネットワークプロトコルをインストールする」に進んでください。

- 1** 「スタート」→(Windows®2000の場合は、「スタート」→「設定」)「コントロールパネル」をクリックして「電話とモデムのオプション」をダブルクリックしてください。



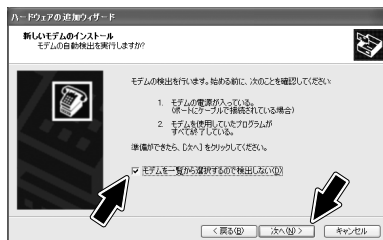
参照

この手順は Windows®XP クラシック表示のコントロールパネルの場合で説明します。画面表示が異なる場合には、画面左上の「クラシック表示に切り替える」をクリックしてください。

- 2** 「モデム」タブをクリックし、「追加」をクリックしてください。

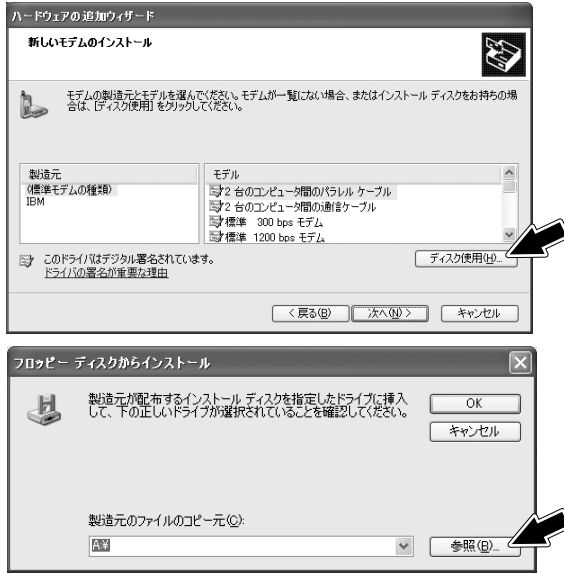


- 3** 「モデムを一覧から選択するので検出しない」にチェックして「次へ」をクリックしてください。

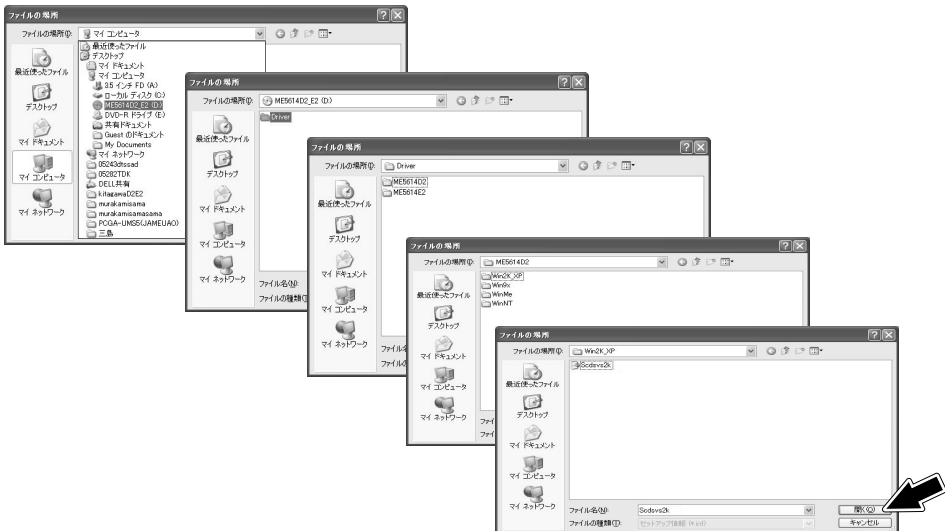


ドライバをインストールする (Windows® Server™2003/XP/2000)

4 添付の CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入した後、「ディスク使用」をクリックし、「参照」をクリックしてください。

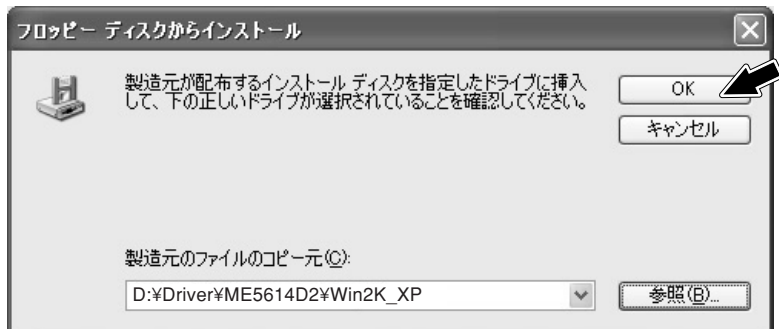


5 「ファイルの場所」欄から CD-ROM ドライブ「ME5614D2_E2 (D:) *」を選んで、「Driver」→「ME5614D2」(または「ME5614E2」) →「Win2K_XP」の順にダブルクリックし、「ファイル名」欄に「Scdsvs2k」が表示されていることを確認し、「開く」をクリックしてください。 * (D) はお使いのパソコンによって異なります。

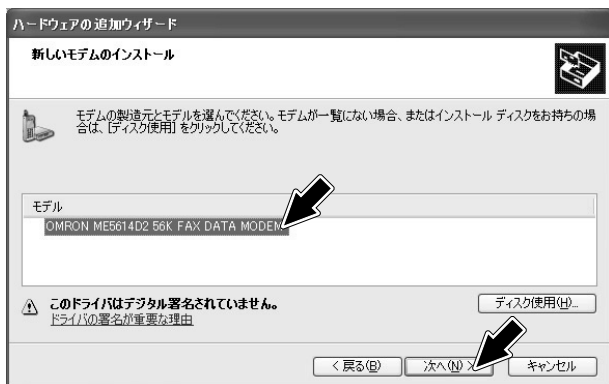


ドライバをインストールする (Windows® Server™2003/XP/2000)

6 「OK」をクリックしてください。



7 「OMRON ME5614D2 (または「ME5614E2」) 56K FAX DATA MODEM」をクリックし「次へ」をクリックしてください。



8 ME5614D2 (または「ME5614E2」) が接続されているポートを選択して、「次へ」をクリックしてください。

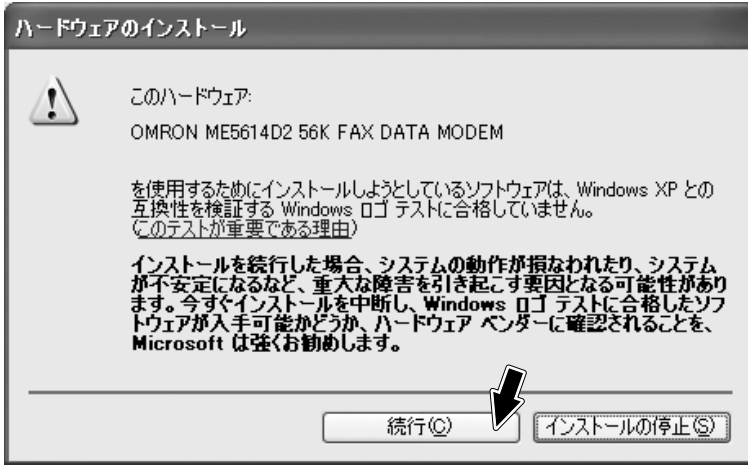


ドライバをインストールする (Windows® Server™2003/XP/2000)

9

下の画面が表示される場合がありますが、「続行」をクリックしてください。
(この画面が表示されない場合は 10 へ進んでください。)

Windows®2000 の場合、「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。



10

「モデムは正常にセットアップされました」と表示されますので、「完了」をクリックしてください。

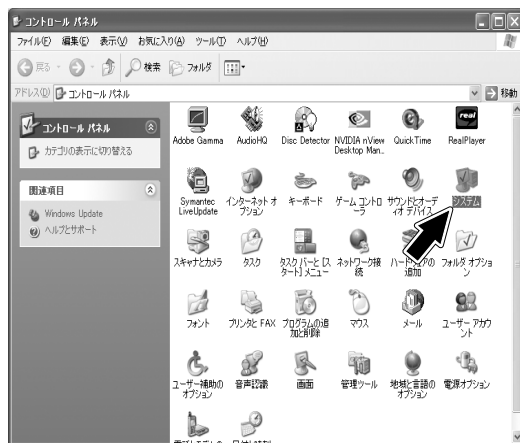
ドライバをインストールする (Windows® Server™2003/XP/2000)

11 「モデム」の欄に「OMRON ME5614D2 (または「ME5614E2」) 56K FAX DATA MODEM」が追加されました。「OK」をクリックしてください。



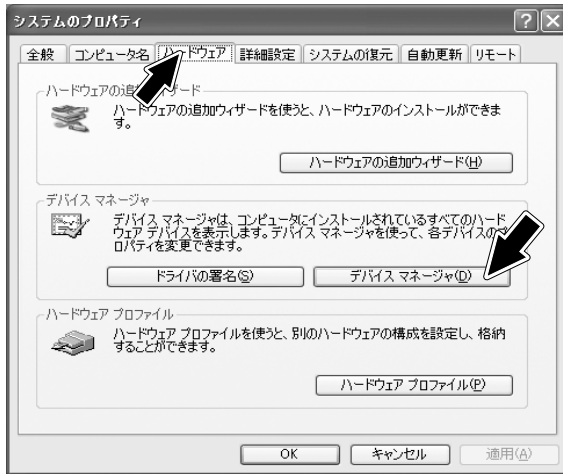
12 インストール結果を確認する。
「モデム設定ファイル (INFファイル)」が正常にインストールされていることを確認します。

- 1) 「スタート」→(Windows®2000の場合は、「スタート」→「設定」)→「コントロールパネル」→「システム」をダブルクリックしてください。

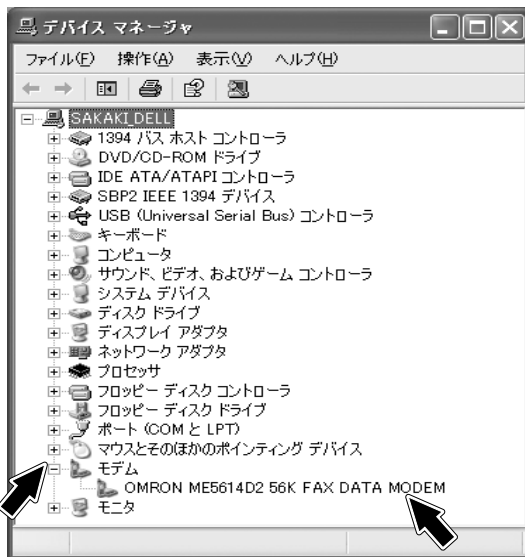


ドライバをインストールする (Windows® Server™2003/XP/2000)

- 2) 「ハードウェア」タブをクリックしてください。デバイスマネージャの欄で「デバイスマネージャ」をクリックしてください。



- 3) モデムの欄の左側の をクリックし「OMRON ME5614D2 (または「ME5614E2」) 56K FAX DATA MODEM」と表示されていればインストールは完了です。



- 4) をクリックして Windows®XP/2000 のデスクトップに戻ってください。

ドライバをインストールする (Windows® Server™2003/XP/2000)

13 接続を確認する。

- 1) 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「電話とモデムのオプション」のアイコンをダブルクリックし、「モデム」タブをクリックしてください。「OMRON ME5614D2 (または「ME5614E2」) 56K FAX DATA MODEM」が表示されているポートをクリックして「プロパティ」をクリックしてください。



初めての場合、所在地情報を入力する必要があります。
ダイヤル元の市外局番を入力して「OK」をクリックしてください。

- 2) 「診断」タブをクリックし、「モデムの照会」をクリックしてください。ATI4の列に「ME5614D2 (または「ME5614E2」)」を確認できれば接続は完了です。(ATI4 以外はパソコンによって表示内容が異なります。)



「OK」をクリックして、Windows® Server™/2000 のデスクトップに戻ってください。

これでドライバのインストール及びモデムとパソコンの接続の確認が完了しました。